

調査結果の概要

第 1 部 世帯と子どもの状況

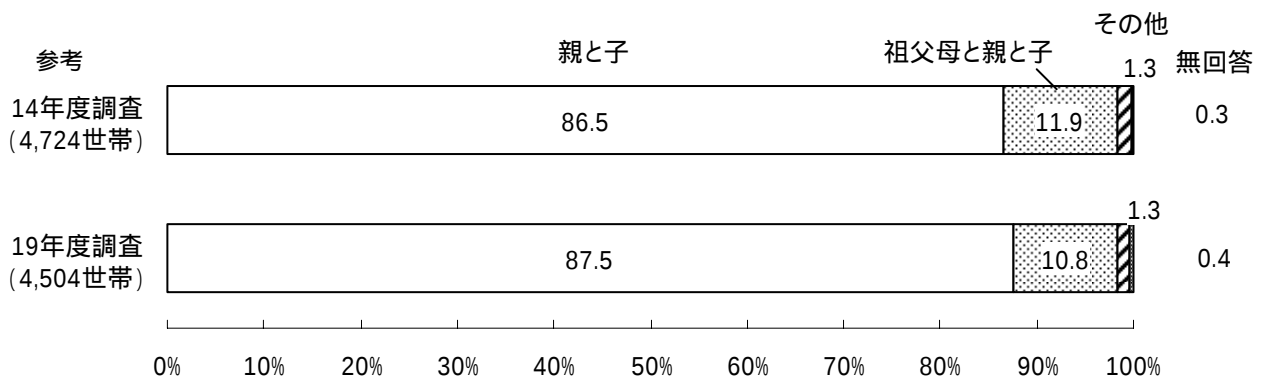
小学生までの子どもを養育する 3,912 世帯及び 20 歳未満の子どもを養育するひとり親 592 世帯を合わせた 4,504 世帯の概況並びにその父母（養育者）8,416 人と子ども 8,104 人の概況

1 世帯の状況

(1) 家族類型 - 過去調査との比較

調査対象世帯の家族類型をみると「親と子」の二世世代世帯の割合が 87.5%と最も高く、次いで「祖父母と親と子」の三世代の割合が 10.8%と続く。(図 -1-1 本文 13p)

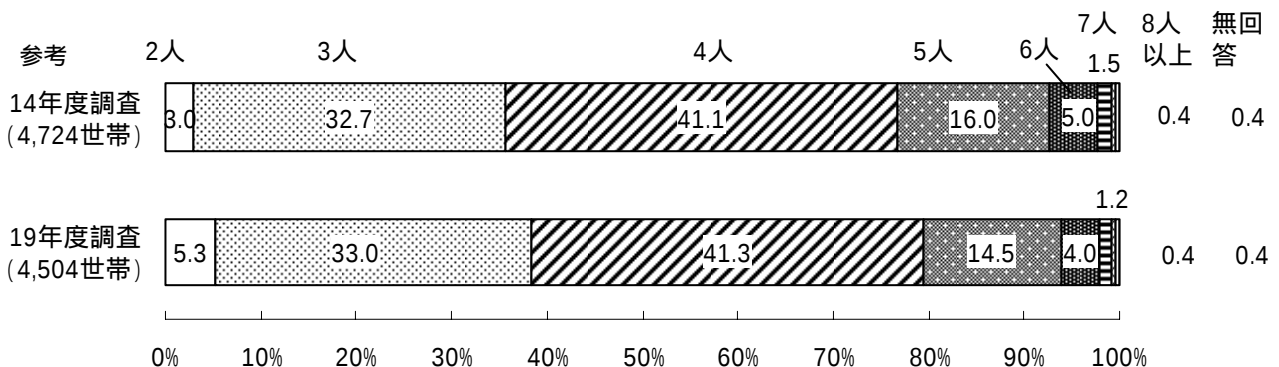
図 -1-1 家族類型 - 前回調査（14 年度）との比較



(2) 世帯人員 - 過去調査との比較

世帯人員は「4 人」の割合が 41.3%で最も高く、次いで「3 人」の世帯が 33.0%と続く。(図 -1-2 本文 14p)

図 -1-2 世帯人員 - 過去調査との比較



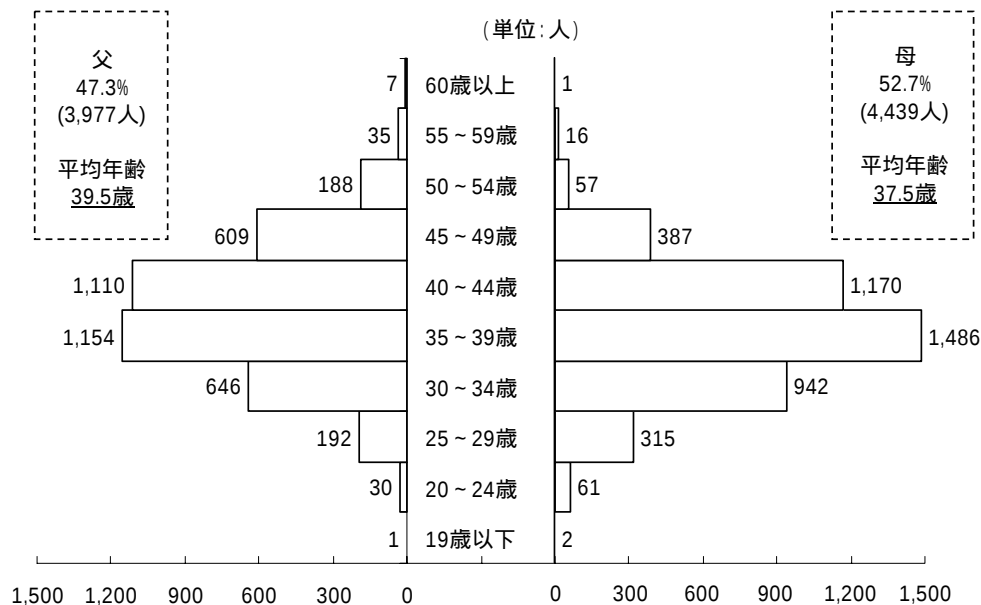
(注)・図の番号は本文中の番号である。

・14 年度調査は、小学生以下の子どもを養育する両親世帯及び小学生以下の子どもを養育するひとり親世帯である。

2 父母の状況

父母の年齢階級をみると、父母ともに30代後半が最も多く、父親1,154人、母親1,486人で、平均年齢は父親39.5歳、母親37.5歳である。(図 -1-3 本文14p)

図 -1-3 父母の状況 - 性・年齢階級別

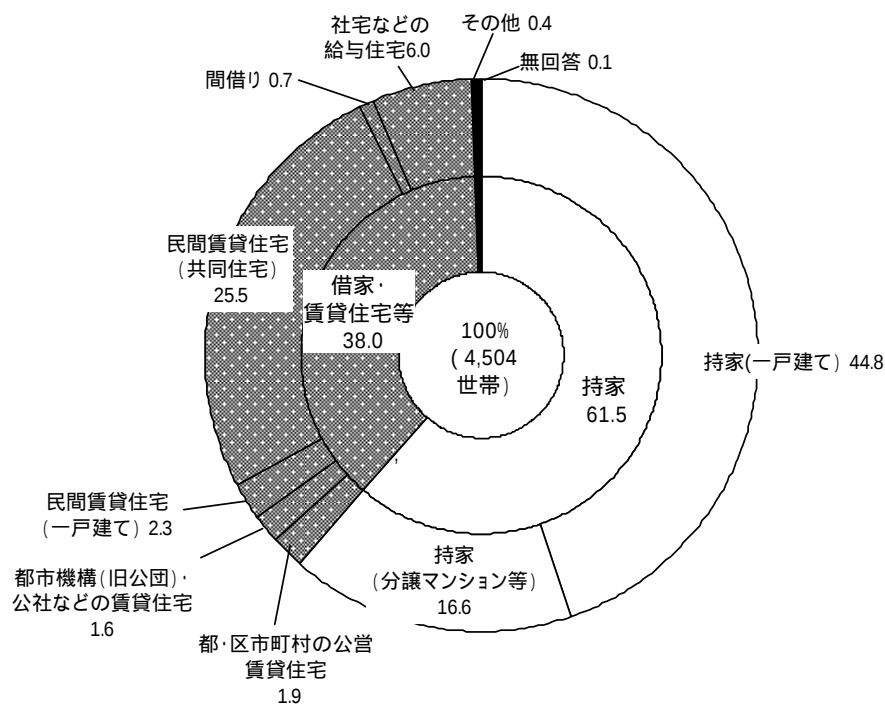


(注) 合計が8,416人にならないのは、無回答が7名いるためである。

3 住宅の状況

住居の種類は、「持家(一戸建て)」の割合が44.8%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅(共同住宅)」が25.5%となっている。(図 -1-6 本文18p)

図 -1-6 住居の種類



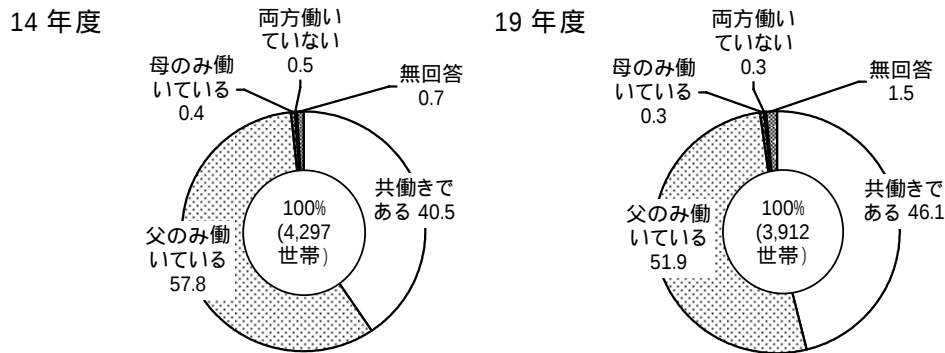
4 父母の就労の状況

(1) 共働きの状況 - 前回調査との比較

「共働きである」世帯の割合が上昇

両親のいる3,912世帯の共働きの状況をみると「共働きである」が46.1%で、前回調査に比べて5ポイント以上高くなっている。(図 -1-10 本文 21p)

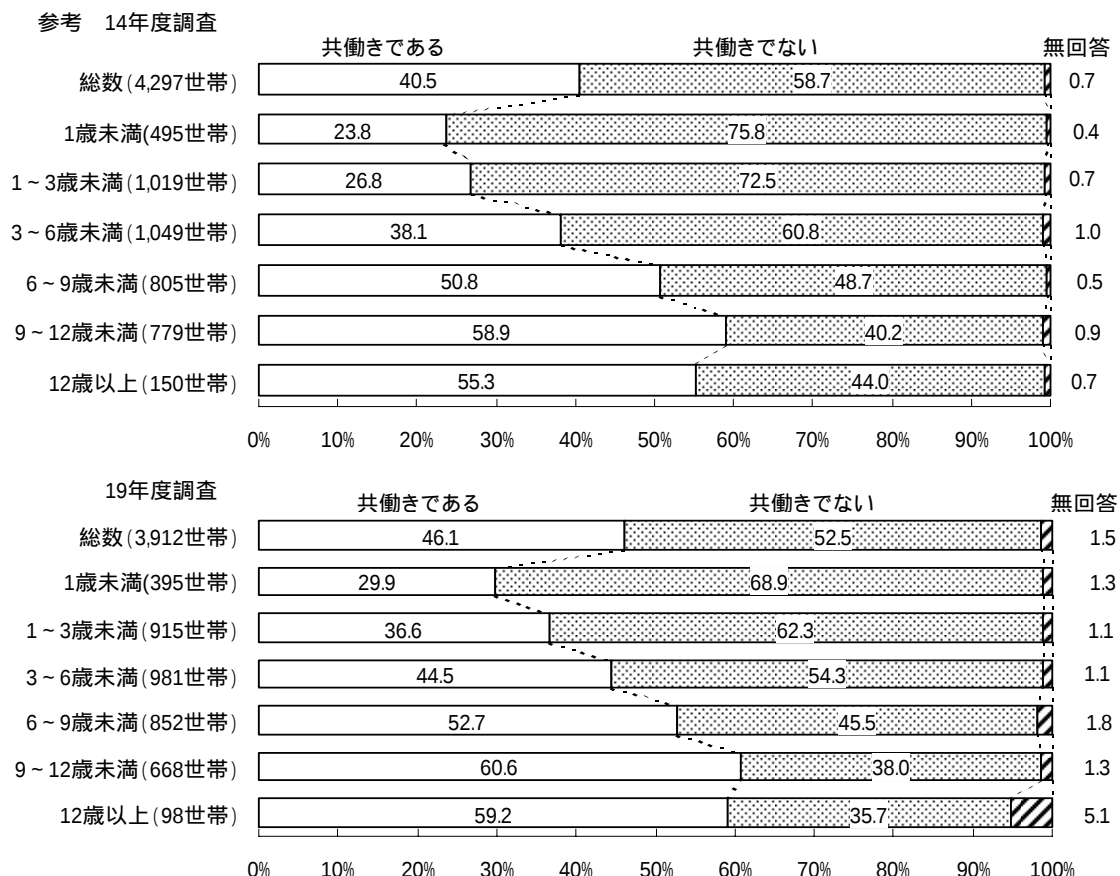
図 -1-10 共働きの状況 - 前回調査との比較



(2) 共働きの状況 - 1番下の子どもの年齢別

両親のいる世帯の共働きの状況をみると「共働きである」は46.1%、「共働きでない」が52.5%である。1番下の子どもの年齢別にみると「共働きである」の割合は、年齢が高くなるにつれて、概ね増えていく傾向にあり、前回調査と比べると、1番下の子どもの年齢が1～3歳未満の場合、10ポイント近く上昇している。(図 -1-11 本文 21p)

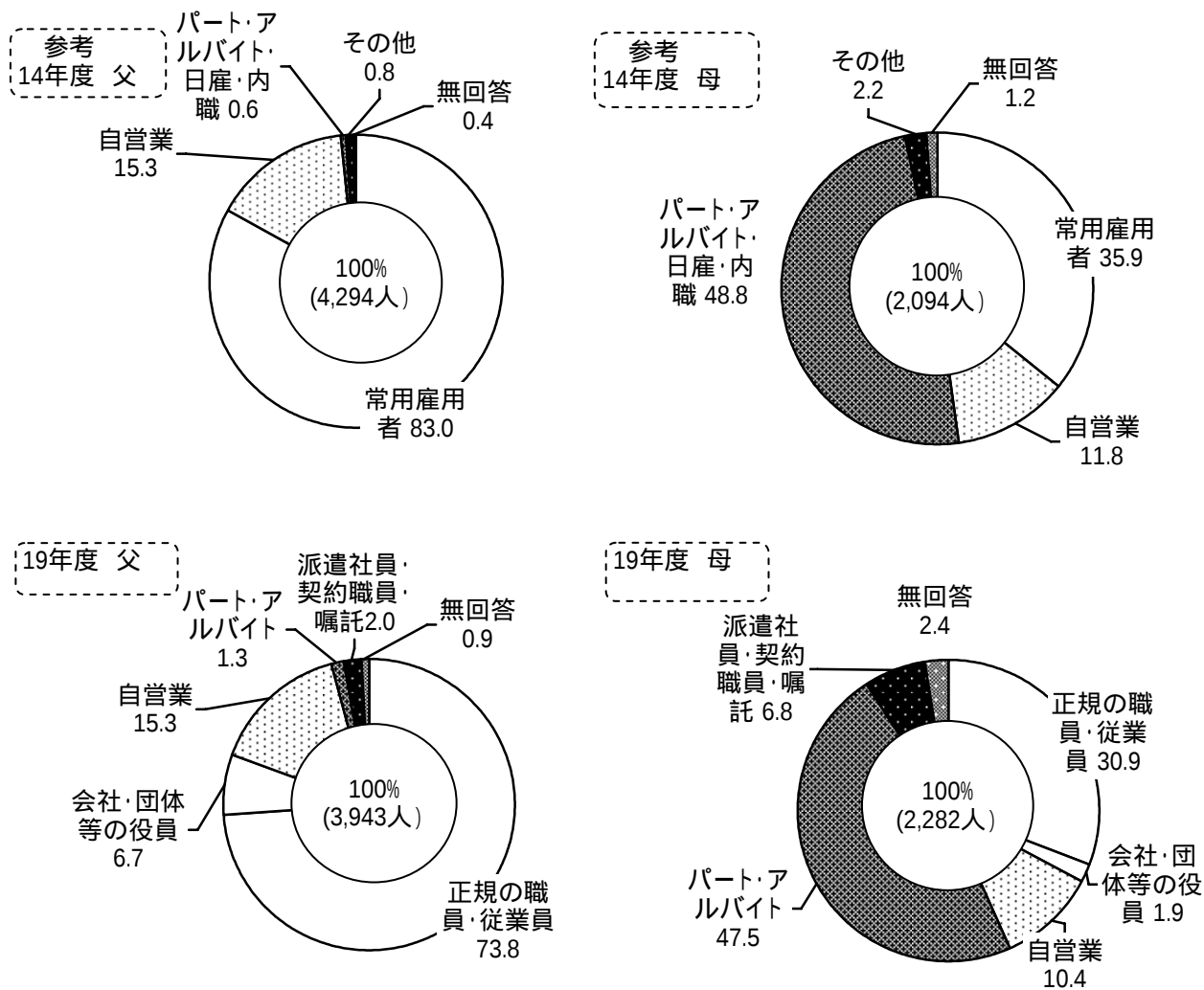
図 -1-11 共働きの状況 - 1番下の子どもの年齢別



(2) 従業上の地位 - 前回調査との比較

従業上の地位をみると、父親は「正規の職員・従業員」の割合が73.8%と最も高いのに対して、母親は「パート・アルバイト」の割合が47.5%と最も高くなっている。(図-1-12 本文 22p)

図 -1-12 従業上の地位 - 前回調査との比較



(注)・14年度調査は、小学生以下の子どもを養育する両親世帯及び小学生以下の子どもを養育するひとり親世帯である。

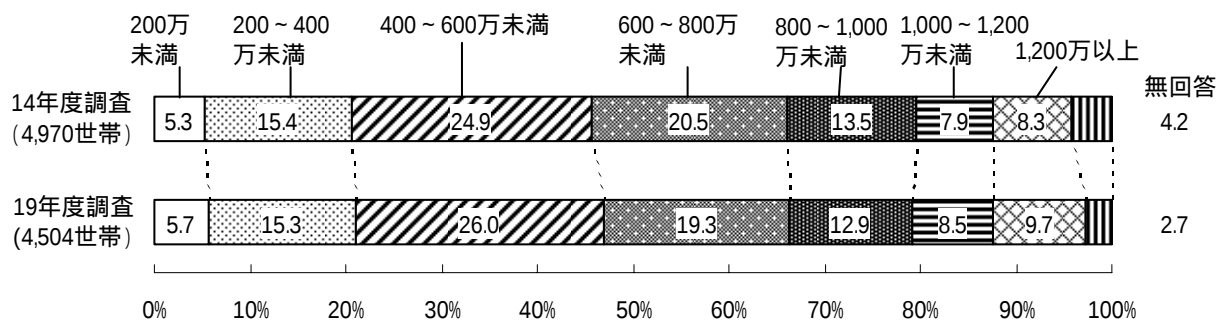
・19年度調査の「会社・団体等の役員」「派遣社員・契約職員・嘱託等」は新たに選択肢として設けたものである。

5 世帯収入の状況

(1) 世帯の年間収入 - 前回調査との比較

世帯の年間収入をみると「400～600万円未満」の世帯が26.0%と最も多く、次いで「600～800万円未満」の19.3%となっている。(図 -1-18 本文 29p)

図 -1-18 世帯収入の状況 - 前回調査との比較



(2) 世帯の年間収入 - 世帯類型（母子・父子世帯）別

世帯の年間収入を世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、両親世帯では「600～800万円未満」の割合が21.3%と最も高い。

ひとり親世帯では「100～200万円未満」の割合が23.3%と最も高く、母子のみの世帯が28.9%となっている。(表 -1-6 本文 29p)

表 -1-6 世帯の年間収入 - 世帯類型（母子・父子世帯）別

	総 数	収 入 な し	1 0 0 万 円 未 満	1 0 0 万 円 未 満	2 0 0 万 円 未 満	3 0 0 万 円 未 満	4 0 0 万 円 未 満	5 0 0 万 円 未 満	6 0 0 万 円 未 満	8 0 0 万 円 未 満	1 1 0 0 万 円 未 満	1 1 0 0 万 円 未 満	1 5 0 0 万 円 未 満	1 5 0 0 万 円 未 満	無 回 答
総数	100.0 (4,504)	0.2	1.6	3.9	5.9	9.4	12.3	13.6	19.3	12.9	8.5	4.7	4.9	2.7	
両親世帯	100.0 (3,912)	0.1	0.3	1.0	3.9	8.9	12.8	14.7	21.3	14.5	9.5	5.3	5.5	2.4	
ひとり親世帯	100.0 (592)	0.8	10.8	23.3	19.4	12.5	9.0	6.6	6.1	2.7	1.5	1.2	1.0	5.1	
母子世帯	100.0 (527)	0.9	12.0	26.0	21.3	11.4	7.4	6.1	5.3	2.3	0.9	0.6	0.6	5.3	
	母子のみの世帯	100.0 (402)	1.2	14.2	28.9	23.1	10.2	6.0	5.5	4.0	1.5	1.0	0.2	-	4.2
	その他	100.0 (122)	-	4.9	17.2	15.6	15.6	12.3	8.2	9.8	4.9	0.8	1.6	2.5	6.6
	父子世帯	100.0 (65)	-	1.5	1.5	4.6	21.5	21.5	10.8	12.3	6.2	6.2	6.2	4.6	3.1
父子世帯	100.0 (38)	-	-	-	2.6	18.4	21.1	13.2	15.8	5.3	7.9	7.9	7.9	-	
	その他	100.0 (26)	-	3.8	3.8	7.7	26.9	23.1	7.7	7.7	7.7	3.8	3.8	-	3.8

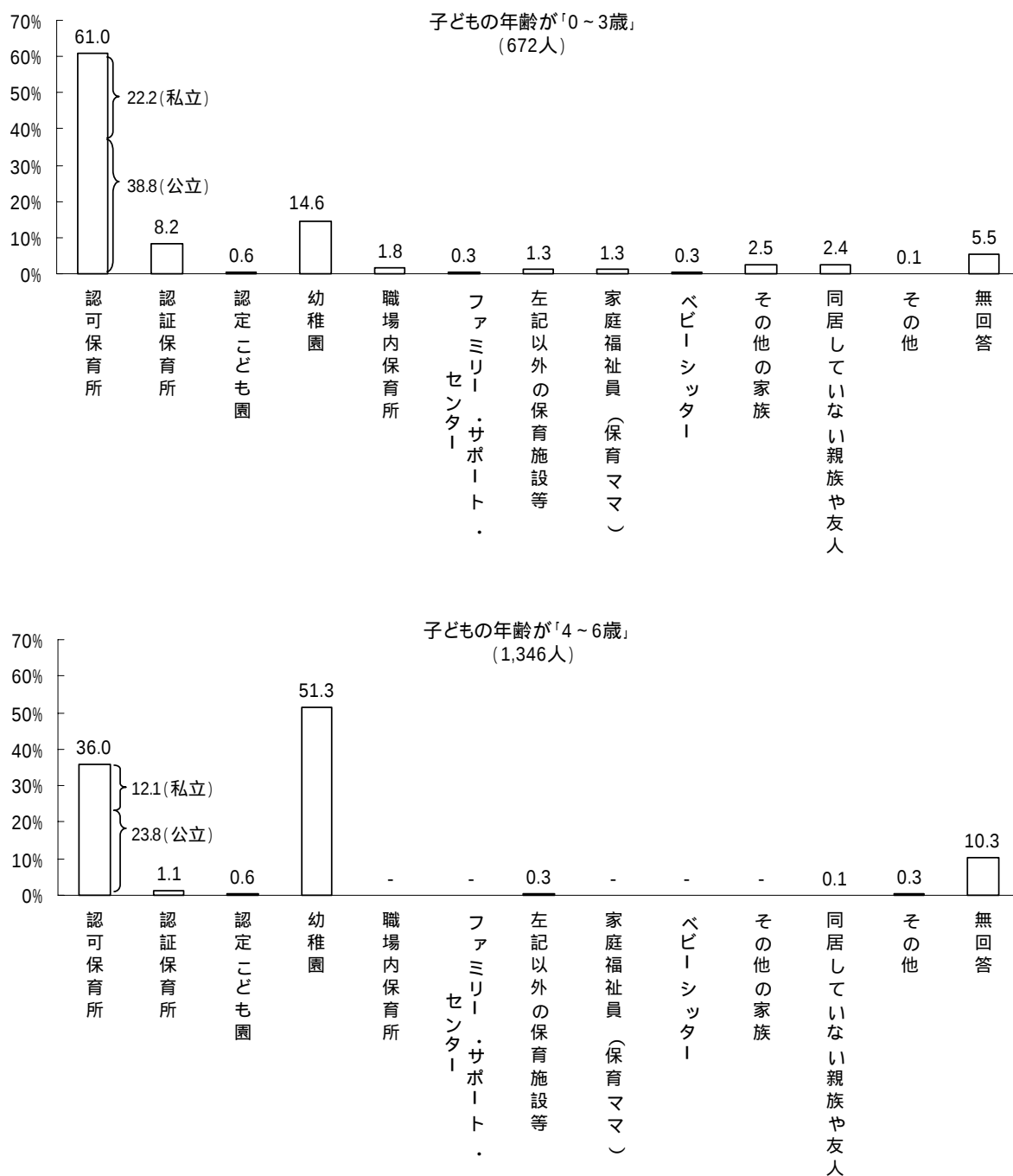
6 自分・配偶者以外が日中の世話をしている子ども（2,021人）の概況

（1）日中の主な預け先

自分・配偶者以外が日中の世話をしている子ども 2,021 人について、日中の預け先を子どもの年齢別（「0～3歳」「4～6歳」）にみると、子どもの年齢が「0～3歳」では、「認可保育所」の割合が最も高く 61.0%であった。（図 -2-9 本文 40p）

問 日中お子さんの世話は主に誰がしていますか。

図 -2-9 日中の主な預け先



（注）合計が 2,021 人にならないのは、年齢不明の子が 3 名いるためである。

(2) 子どもの預け先を選ぶ際に重視すること[複数回答]

- 日中子どもを見てもらっているところ（主なところ）別

子どもの預け先を選ぶ際に重視することについて、日中、主に子どもを見てもらっているところ（主なところ）別にみると、総数では「通うのに便利な場所にある」の割合が51.9%で最も高く、「丁寧に子どもを見てくれる」が49.9%と続く。

「子どもを見てくれる時間が十分である」の割合は、認可保育所（公立 41.4%、私立 34.9%）で子どもを見てもらっている世帯が総数の割合（29.5%）よりも高い。また、「給食の内容が良い」ことを重視する割合は、認証保育所で子どもを見てもらっている世帯が 14.3%と、他のところよりも高いのが目立つ。（表 -2-1 本文 37p）

問 お子さんの預け先を選ぶ際に重視することは何ですか。

表 -2-1 子どもの預け先を選ぶ際に重視すること〔複数回答〕

- 日中子どもを見てもらっているところ（主なところ）別

	総 数	子どもを 見てくれる 時間が十分 である	休日や夜間 でも利用で きる	子どもが病 気のときで も利用できる	教育・保育 が充実して いる	高い費用で 利用できる	柔軟な対応 をしてけれ る	先生や保育 者の教育の 方針が養育 者と一致し ている	先生や保育 者と養育者 との交流が 盛んである	給食の内容が 良い	丁寧に見て くれる	通うのに便 利な場所に ある	その他	特にな い	無回 答
総数	100.0 (2,021)	29.5	3.4	7.1	29.6	31.1	18.7	24.4	10.5	5.6	49.9	51.9	1.2	1.3	2.6
認可保育所(公立)	100.0 (582)	41.4	4.1	8.6	23.4	32.3	18.9	11.3	7.9	6.2	46.2	59.6	1.2	1.5	2.6
認可保育所(私立)	100.0 (315)	34.9	4.4	8.9	30.5	25.4	21.6	18.4	10.5	10.8	48.6	50.8	-	0.3	2.2
認証保育所	100.0 (70)	30.0	2.9	10.0	24.3	34.3	24.3	7.1	14.3	14.3	47.1	57.1	1.4	-	1.4
認定こども園	100.0 (12)	16.7	8.3	8.3	33.3	41.7	25.0	-	-	8.3	41.7	33.3	8.3	-	-
幼稚園	100.0 (789)	20.7	1.8	4.9	35.2	30.5	17.2	37.0	11.5	2.8	53.0	49.2	1.8	1.8	1.5
職場内保育所	100.0 (12)	16.7	-	16.7	25.0	66.7	41.7	-	-	8.3	50.0	75.0	-	-	-
家庭福祉員(保育ママ)	100.0 (9)	55.6	11.1	-	22.2	11.1	11.1	33.3	22.2	-	77.8	33.3	-	-	-
その他の家族	100.0 (17)	35.3	17.6	5.9	17.6	41.2	11.8	17.6	17.6	-	52.9	29.4	-	-	-
同居していない親族や友人	100.0 (17)	41.2	-	5.9	17.6	41.2	17.6	29.4	29.4	5.9	35.3	41.2	-	-	-

(注) 総数は、自分・配偶者以外が日中の世話をしている子どもの数 2,021 人である。

7 自分・配偶者が日中の世話をしている子どもがいる世帯の状況

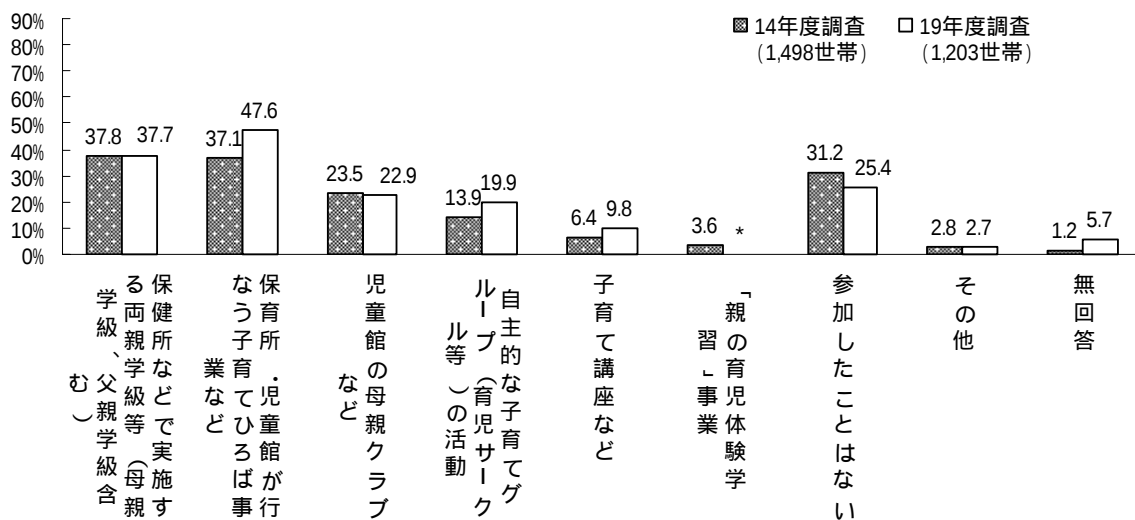
(1) 子育てサービスの参加状況〔複数回答〕 - 前回調査との比較

保育所・児童館が行う子育てひろば事業に参加したことがある割合は約 5 割に上昇

子育てサービスの参加状況を尋ねたところ、「保育所・児童館が行う子育てひろば事業など」の割合が 47.6%と最も高く、前回調査の割合（37.1%）と比べて 10 ポイント以上、上昇した。（図 -2-14 本文 49p）

問 次のうちで、参加したことがあるものはありますか。

図 -2-14 子育てサービスの参加状況〔複数回答〕 - 前回調査との比較



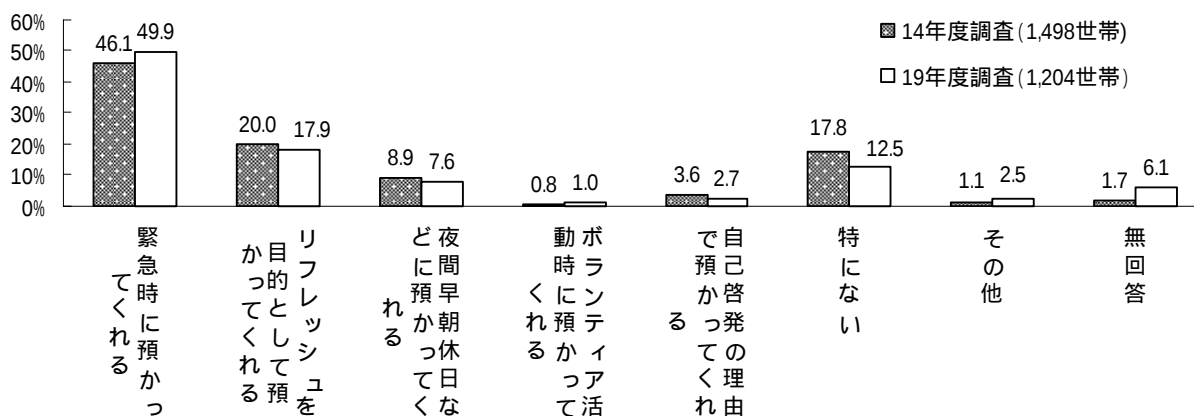
（注）*は 19 年度調査時に選択肢を設けなかったもの。

(2) あればよいと思う在宅支援サービス - 前回調査との比較

どのような在宅支援サービスがあればよいと思うか尋ねたところ、「親や家族の病気などの緊急時に預かってくれる」の割合が 49.9%とおおよそ半数で最も高く、次いで「リフレッシュのため、美容院やコンサートに行ったり、スポーツをするなどの理由で預かってくれる」の 17.9%となっている。（図 -2-16 本文 51p）

問 在宅で子育てを行う家庭に対し、どのようなサービスがあればいいと思いますか。

図 -2-16 あればよいと思う在宅支援サービス - 前回調査との比較



8 小学生の子どもがいる 2,595 世帯の小学生の子ども 3,374 人の概況

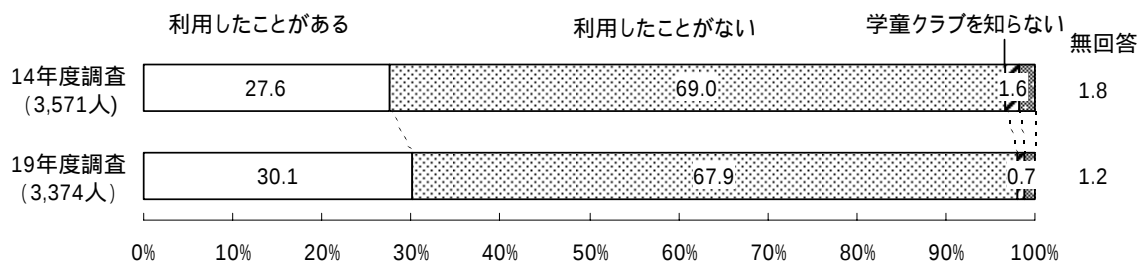
(1) 学童クラブの利用状況 - 前回調査との比較

学童クラブを「利用したことがある」割合は前回調査よりも増加し 3 割となった。

小学生の子どもの学童クラブの利用状況を聞いたところ「利用したことがある」が 30.1%と 3 割以上の子どもが学童クラブを利用したことがあると回答した。(図 -3-1 本文 52p)

問 お子さんは、学童クラブを利用したことがありますか。

図 -3-1 学童クラブの利用状況



(注)学童クラブは、昭和 38 年の東京都の事業開始以来、数を増やし、平成 19 年は 1,453 か所となっている。

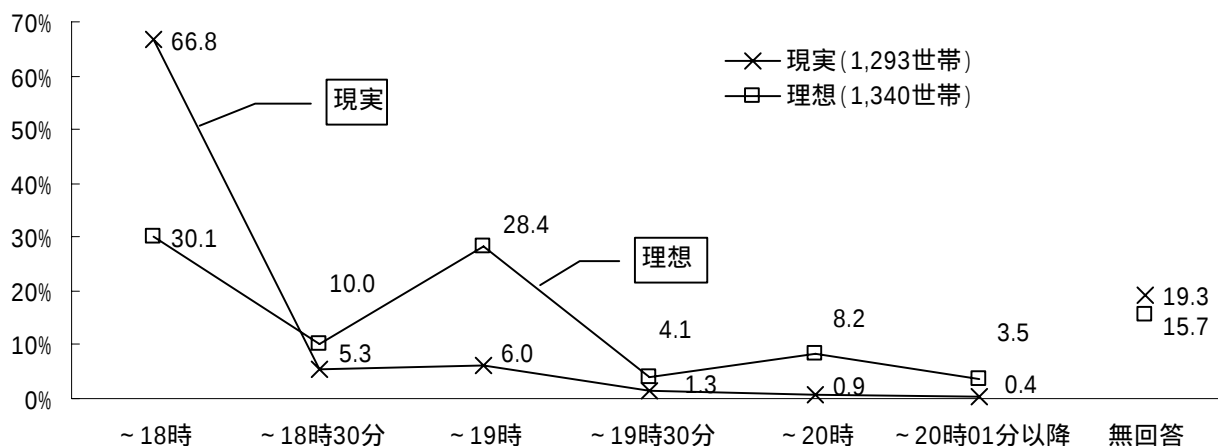
(2) 学童クラブの終了時間 - 理想と現実

学童クラブの理想の終了時間は、「18 時超～19 時」の割合が高く約 4 割

現在利用している学童クラブ、又は今後利用しようと思っている学童クラブが何時まで開いているか聞いたところ、「～18 時」が 66.8%であったが、何時まで開いてほしいか聞いたところ「～18 時」の割合が 30.1%で最も高かった。次いで、「～19 時」が 28.4%で、「～18 時 30 分」と含めた「18 時超～19 時」まで開いていてほしいと答えた割合は 38.4%と約 4 割を占めた。(図 -3-7 本文 58p)

問 現在利用している学童クラブ、又は今後利用しようと思っている学童クラブは何時まで開いていますか。また、学童クラブは何時まで開いていてほしいと思いますか。

図 -3-7 学童クラブの終了時間 - 理想と現実



(注) 東京都では、学童クラブ事業を実施する区市町村等に、平日 1 日 6 時間を超え、かつ、18 時を超え、開設する場合、時間延長加算の補助を行っている。

第2部 20歳未満の子どもを養育するひとり親世帯

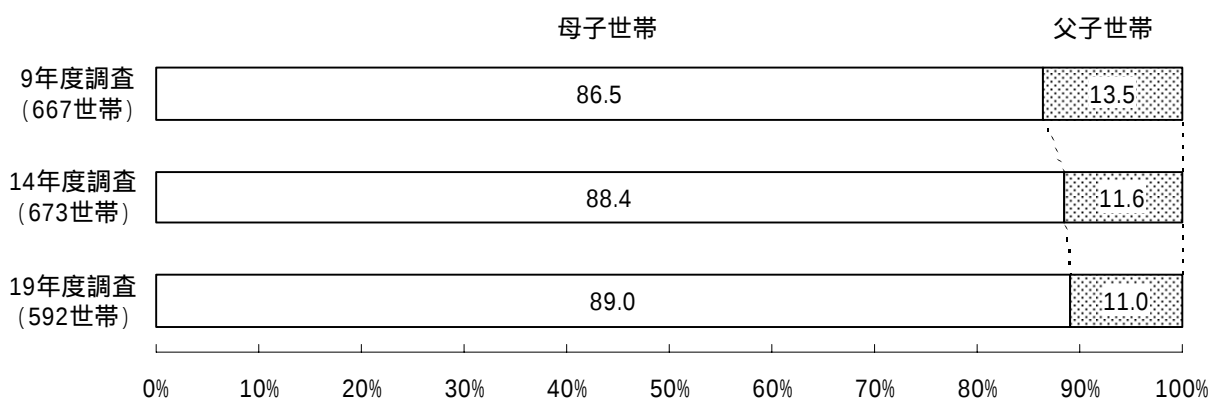
20歳未満の子どもを養育するひとり親世帯 592 世帯の概況並びにその子ども 948 人の概況

1 世帯の状況

(1) 世帯類型 - 過去調査との比較

調査対象世帯の世帯類型（母子・父子世帯）をみると、「母子世帯」が 89.0% で、「父子世帯」が 11.0% である。（図 -1-1 本文 65p）

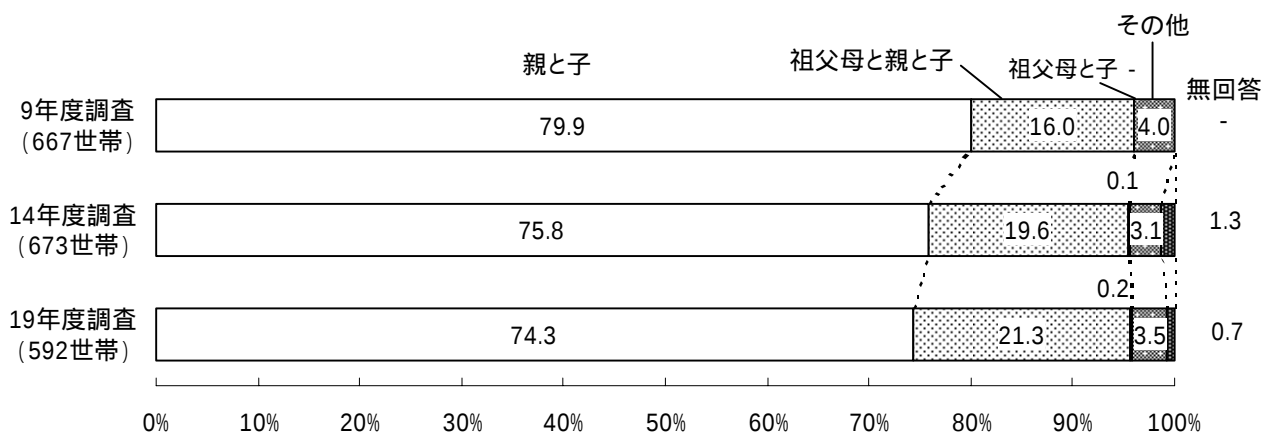
図 -1-1 世帯類型 - 過去調査との比較



(2) 家族類型 - 過去調査との比較

家族類型をみると、「親と子」が 74.3% で、「祖父母と親と子」が 21.3% となっており、「祖父母と親と子」の三世代の割合が平成 9 年から連続して上昇している。（図 -1-2 本文 65p）

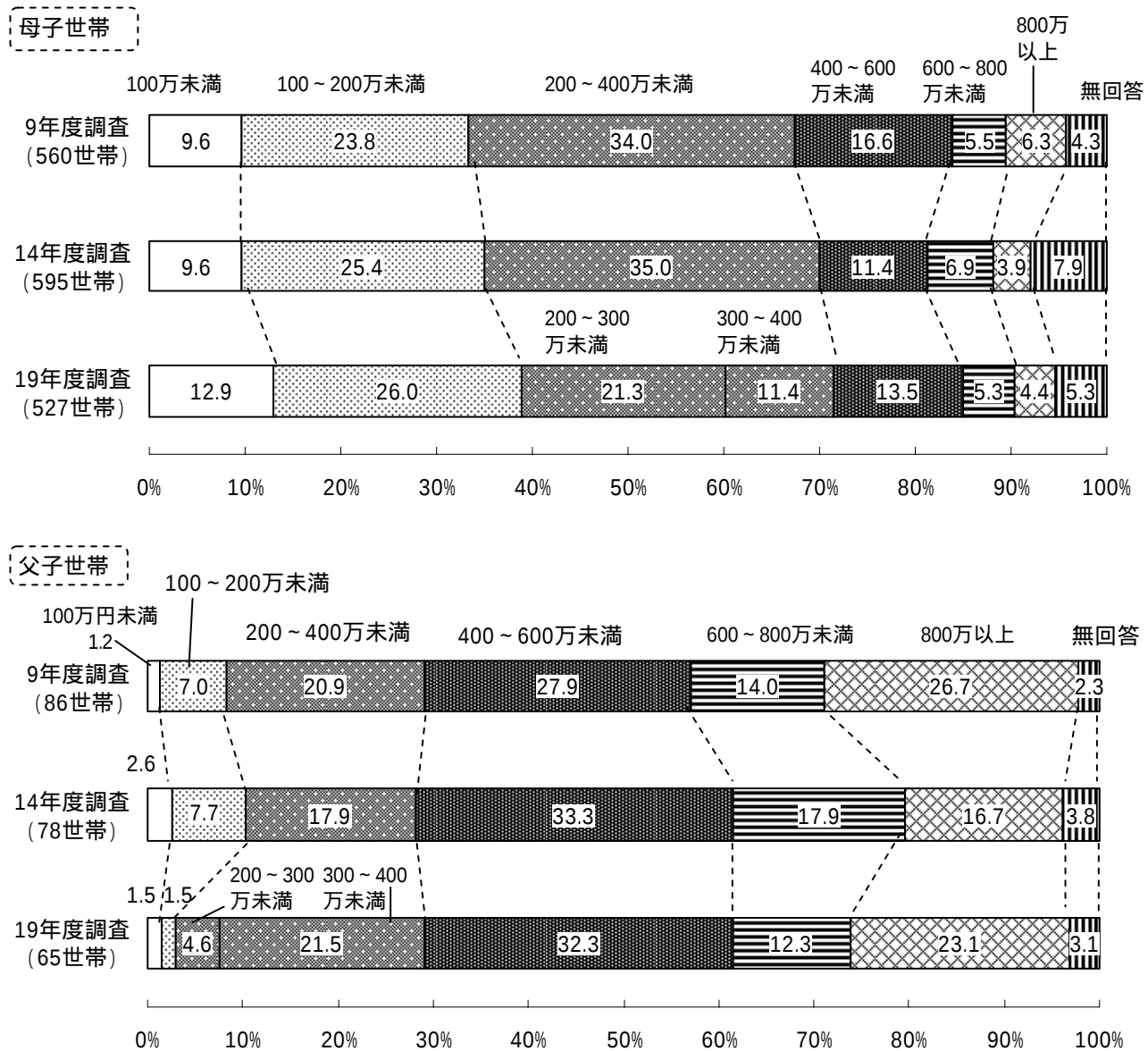
図 -1-2 家族類型 - 過去調査との比較



2 世帯の年間収入 - 過去調査との比較

世帯の年間収入を過去調査と比較すると、母子世帯では、「100 万円未満」の割合が、9 年度調査、14 年度調査と比較して 3.3 ポイント上昇している。また、「100～200 万円未満」の割合も 9 年度調査から連続して上がっており、「100 万円未満」と「100～200 万円未満」をあわせた 200 万円未満の割合は 38.9%となった。(図 -1-10 本文 70p)

図 -1-10 世帯の年間収入 - 過去調査との比較



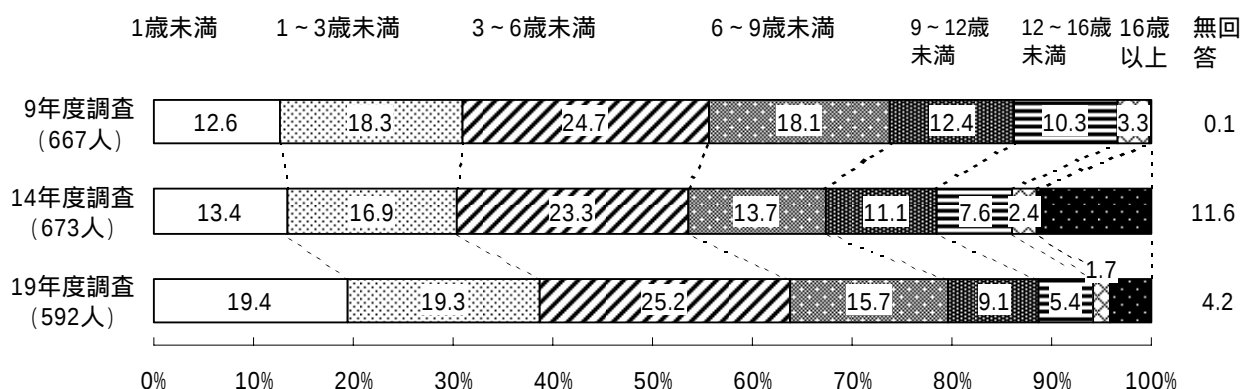
3 ひとり親世帯になったときの1番下の子どもの年齢—過去調査との比較

ひとり親になったときの1番下の子どもの年齢が「3歳未満」の割合は約4割

ひとり親になった当時の1番下の子どもの年齢は、「3～6歳未満」の割合が25.2%と最も高いが、「1歳未満」の割合が19.4%と2割近くであり、9年度調査から連続して上がっている。「1歳未満」と「1～3歳未満」をあわせた3歳未満の割合は、前回調査よりも上昇して38.7%となり、約4割となった。(図 -2-3 本文 75p)

問 ひとり親になったとき、1番下のお子さんは何歳でしたか。

図 -2-3 ひとり親になったときの1番下の子どもの年齢—過去調査との比較



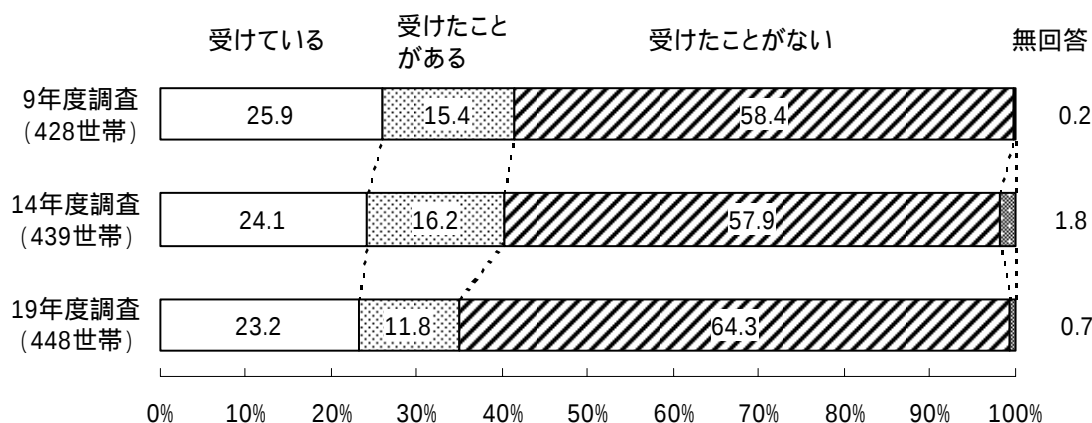
4 養育費受取の有無（母子世帯） - 過去調査との比較

母子世帯で養育費を「受けたことがない」割合は、6割強に上昇

養育費受取の有無（母子世帯）を過去調査との比較でみると、「受けたことがない」の割合は、19年度調査では64.3%となり、前回調査の57.9%よりも上昇した。(図 -3-2 本文 84p)

問 あなたは、離別した子どもの母親又は父親から、養育費を受けていますか。

図 -3-2 養育費受取の有無（母子世帯） - 過去調査との比較

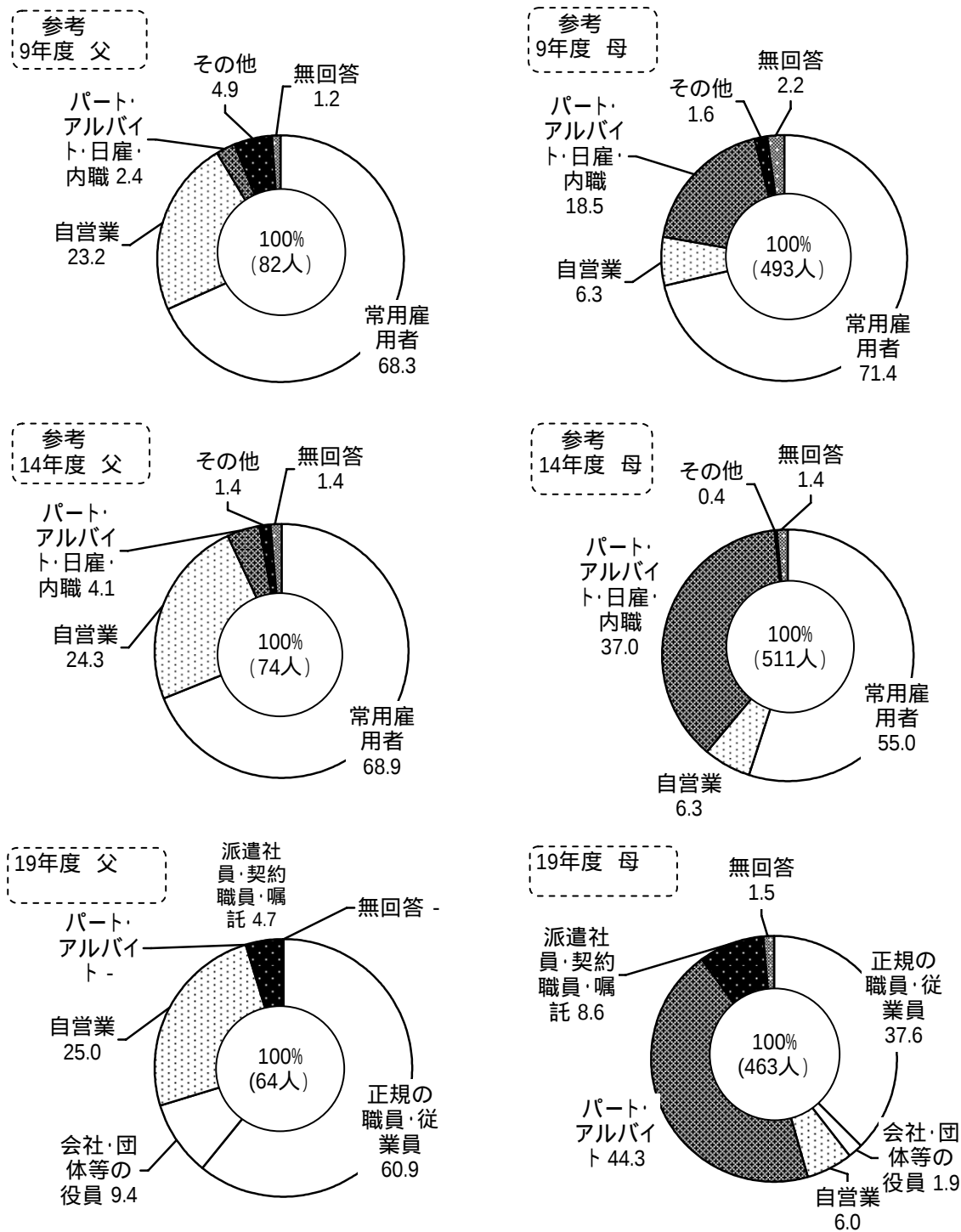


(注) 東京都では、養育費の取得率向上を図ることなどを目的とし、平成20年度から養育費相談体制の拡充を図っている。

5 従業上の地位 - 過去調査との比較

現在就業している父 64 人と母 463 人の従業上の地位をみると、父親は「正規の職員・従業員(常用雇用者)」の割合が 60.9%と最も高く、母親は「パート・アルバイト」が 44.3%と最も高くなっている。(図 -5-2 本文 90p)

図 -5-2 従業上の地位 - 過去調査との比較



(注) 19年度調査の「会社・団体等の役員」「派遣社員・契約職員・嘱託等」は新たに選択肢として設けたものである。

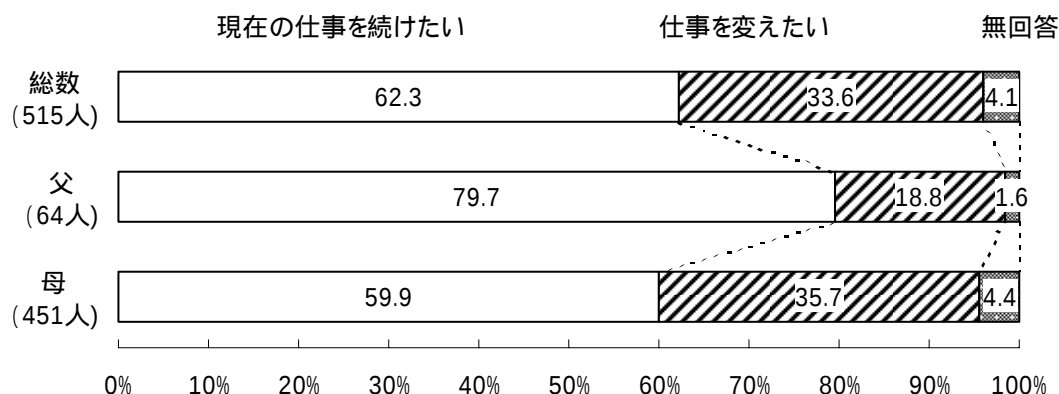
6 転職希望

(1) 転職の希望

現在仕事をしている 515 人に転職をしたいか聞いたところ、「現在の仕事を続けたい」の割合が 62.3%、「仕事を変えたい」の割合は 33.6%であった。父母別にみると「仕事を変えたい」の割合は母親が 35.7%、父親が 18.8%であった。(図 -5-5 本文 92p)

問 あなたは、転職する希望がありますか。

図 -5-5 転職の希望

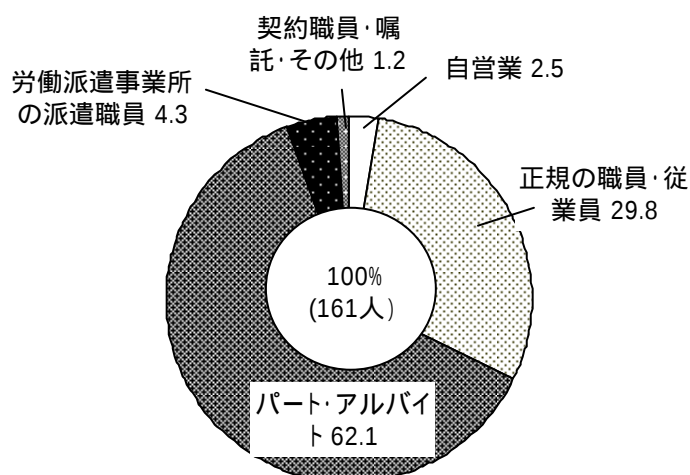


(注) 総数 515 人は、現在、働いている人で、職場に籍は置いているが、産休・育児休業中や病気等で休んでいる人は除く。

(2) 転職希望者 - 母親の従業上の地位別

現在の「仕事を変えたい」と答えた母親 161 人について、従業上の地位別にみると、「パート・アルバイト」の割合が 62.1%と最も高かった。(図 -5-6 本文 92p)

図 -5-6 転職希望者 - 母親の従業上の地位別



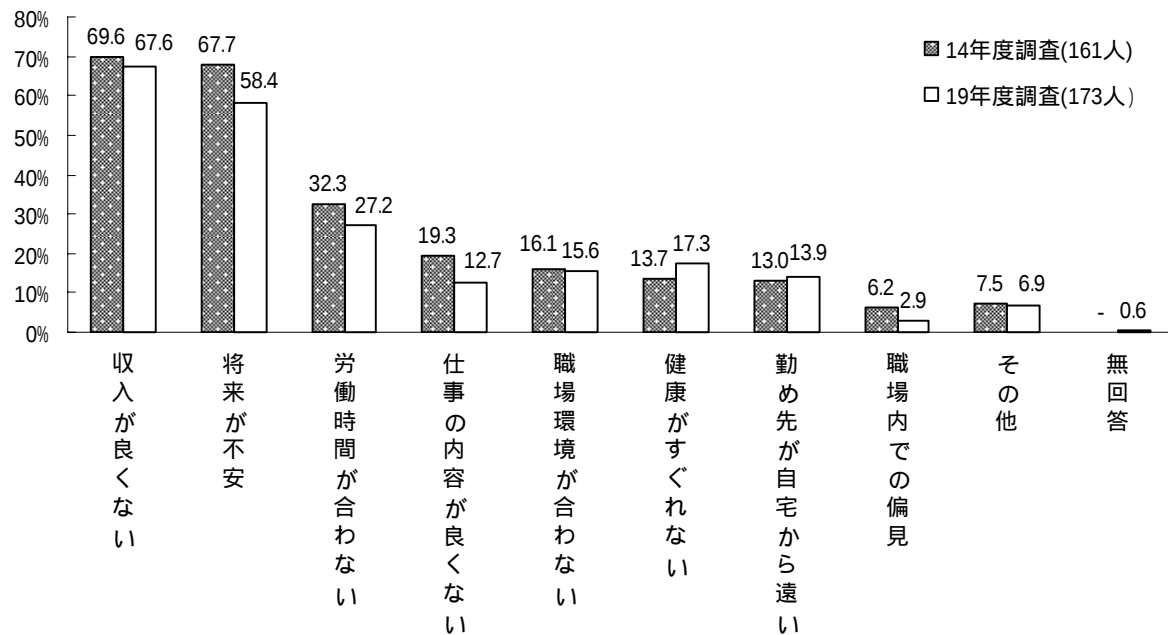
(注) 父親は転職希望者が 12 人のため省略した。

(3) 仕事を变えたい理由〔複数回答〕 - 前回調査との比較

「仕事を变えたい」と回答した 173 人に、仕事を变えたい理由を聞いたところ、「収入が良くない」の割合が最も高く 67.6%、次いで「将来が不安」の 58.4%で、それぞれ半数を超えている。(図 -5-7 本文 93p)

問 仕事を变えたい理由は何ですか。

図 -5-7 仕事を变えたい理由〔複数回答〕 - 前回調査との比較



(4) 仕事を变えたい理由〔複数回答〕 - 母親の従業上の地位別

仕事を变えたい理由を母親の従業上の地位別にみると、「収入が良くない」の割合は、パート・アルバイトが 74.0%と最も高く、「将来が不安」の割合は、労働者派遣事業所の派遣社員が 71.4%、パート・アルバイトが 66.0%と高くなっている。(表 -5-1 本文 93p)

表 -5-1 仕事を变えたい理由〔複数回答〕 - 母親の従業上の地位別

	総数	収入が良くない	労働時間が合わない	健康がすぐれない	仕事の内容が良くない	職場環境が合わない	労働時間が合わない	将来が不安	職場内での偏見	その他	無回答
総数	100.0 (160)	67.5	11.9	17.5	11.9	15.0	26.3	57.5	2.5	7.5	0.6
自営業	100.0 (4)	25.0	-	75.0	-	-	-	25.0	-	25.0	25.0
正規の職員・従業員	100.0 (48)	62.5	22.9	12.5	10.4	16.7	41.7	41.7	2.1	4.2	-
パート・アルバイト	100.0 (99)	73.7	6.1	19.2	13.1	15.2	21.2	65.7	3.0	7.1	-
労働者派遣事業所の派遣社員	100.0 (7)	28.6	14.3	-	14.3	14.3	14.3	71.4	-	28.6	-

(注) 父親は転職希望者が 12 人のため省略した。

第3部 子育てに関する実態と意識

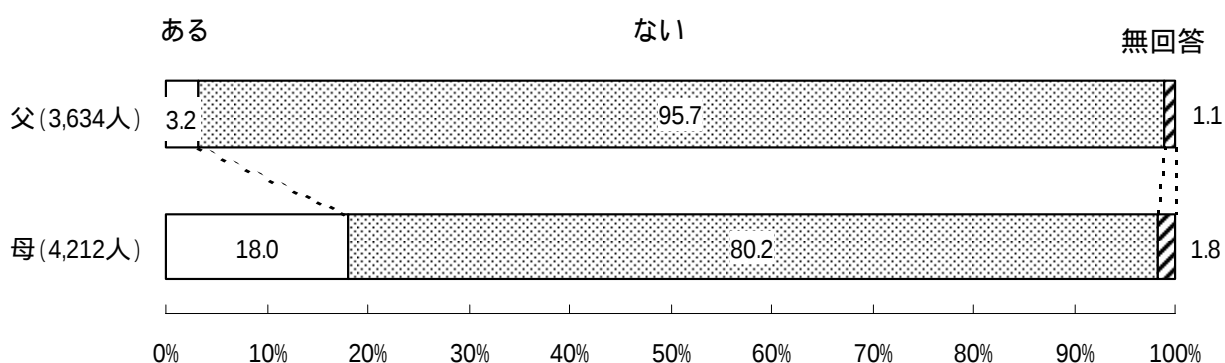
小学生までの子どもを養育する世帯 4,800 世帯と 20 歳未満の子どもを養育するひとり親世帯 1,200 世帯の子どもの父親と母親（養育者を含む）7,988 人の概況

1 子育てを理由とした転職の有無

今まで働いたことがない人を除いた 7,846 人のうち、子育てを理由として転職したことがあるのは、父親 3.2%、母親 18.0%である。（図 -1-2 本文 98p）

問 あなたは、今までに子育てを理由として、転職したことがありますか。

図 -1-2 子育てを理由とした転職の有無



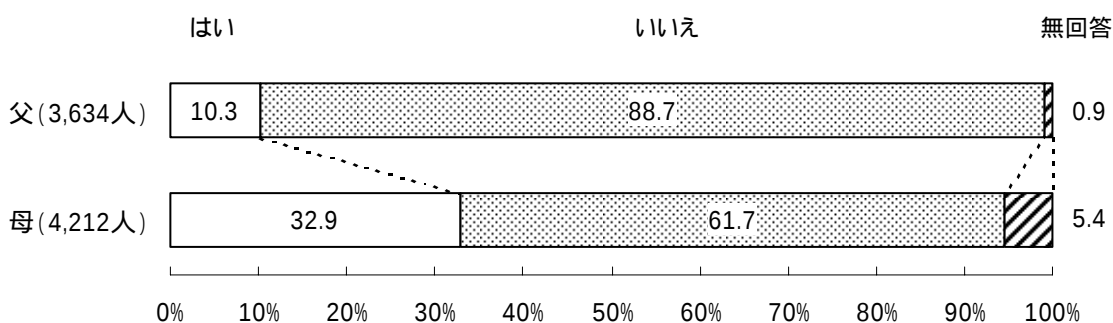
2 勤務時間の調整の有無

勤務時間の調整をしたことがあるのは、父親 1 割、母親 3 割強

今まで働いたことがない人を除いた 7,846 人のうち、子どもが生まれた後、勤務時間の調整をした（予定も含む。）のは、父親 10.3%、母親 32.9%である。（図 -1-4 本文 99p）

問 あなたは、子どもが生まれた後、勤務時間の調整（短時間勤務、フレックス、勤務時間の繰上げ、繰下げ等）をしましたか、又は職場復帰後、調整をする予定ですか。

図 -1-4 勤務時間の調整の有無



3 仕事をやめた理由

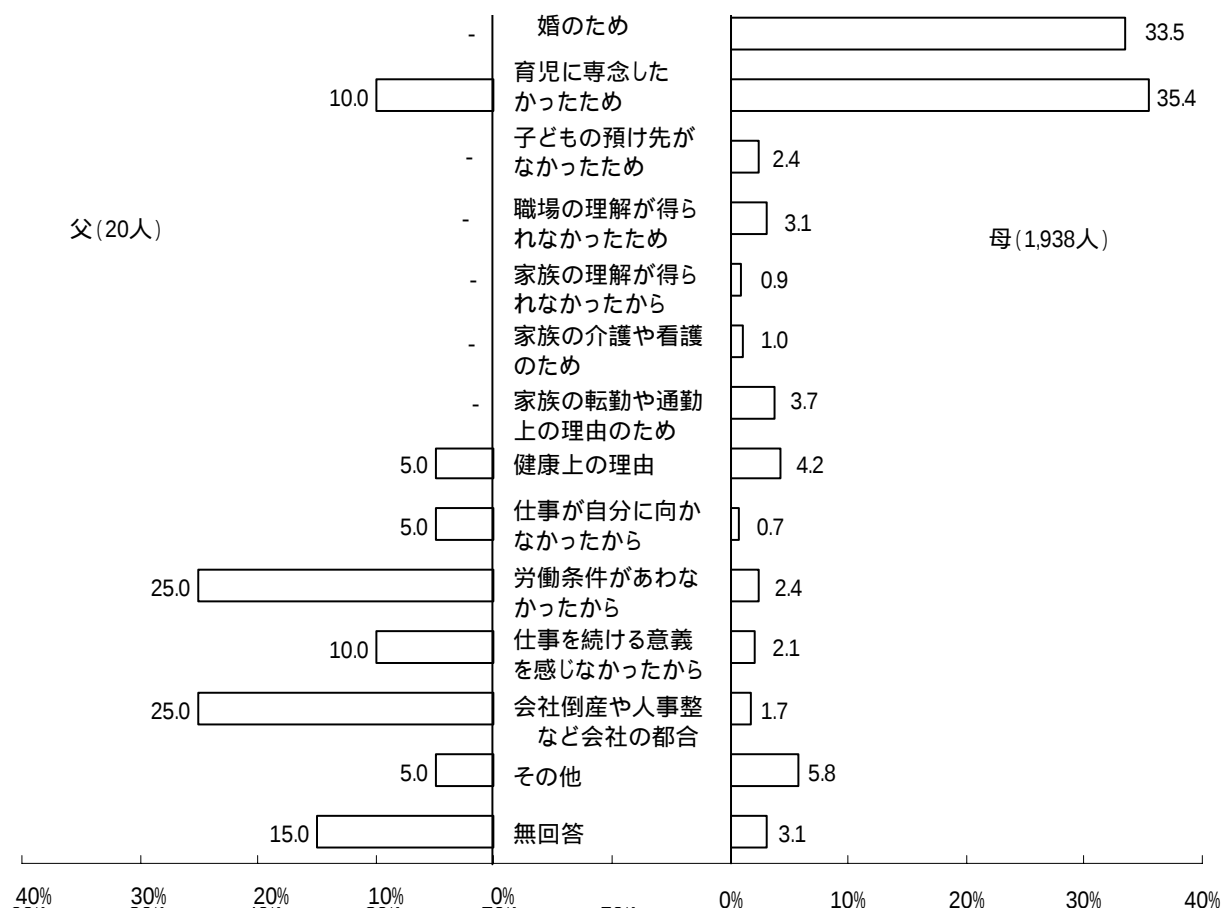
(1) 仕事をやめた理由

母親が仕事をやめた理由は、「育児に専念したかったため」がトップ

就労状況で、「以前は働いていた」と答えた1,958人に仕事をやめた理由を聞いたところ、母親は「育児に専念したかったため」の割合が35.4%と最も高く、次いで「結婚のため」の33.5%であった。(図 -1-8 本文 101p)

問 仕事をやめた理由は何ですか。

図 -1-8 仕事をやめた理由



(2) 仕事をやめた理由 - 母親の年齢階級別

母親が仕事をやめた理由は、39 歳以下では「育児に専念したかったため」、40 代では「結婚のため」の割合が最も高い。

仕事をやめた理由を母親の年齢階級別にみると、39 歳以下では「育児に専念したかったため」の割合が最も高い（29 歳以下 36.3%、30～34 歳 37.0%、35～39 歳 36.9%）。一方 40 代では、「結婚のため」の割合が最も高く、40～44 歳では 37.6%、45～49 歳では 35.9%となっている。（表 -1-2 本文 102p）

表 -1-2 仕事をやめた理由 - 母親の年齢階級別

	総 数	結 婚 の た め	育 児 に 専 念 し た か っ た た め	子 ど も の 預 け 先 が な か っ た た め (遠かっ たため)	子 育 て に つ い て 職 場 の 理 解 が 得 ら れ な か っ た た め	仕 事 を 続 け る こ と に つ い て 、 家 族 の 理 解 が 得 ら れ な か っ た た め	家 族 の 介 護 や 看 護 の た め	家 族 の 転 勤 や 通 勤 上 の 理 由 の た め	健 康 上 の 理 由	仕 事 が 自 分 に 向 か な か っ た か ら	労 働 条 件 (労 働 時 間 、 賃 金 等) が 合 わ な か っ た か ら	仕 事 を 続 け る こ と の 意 義 を 感 じ な か っ た か ら	会 社 倒 産 や 人 事 整 理 な ど 会 社 の 都 合 か ら	そ の 他	無 回 答
母	100.0 (1,938)	33.5	35.4	2.4	3.1	0.9	1.0	3.7	4.2	0.7	2.4	2.1	1.7	5.8	3.1
29歳以下	100.0 (190)	30.0	<u>36.3</u>	5.8	1.6	0.0	0.0	2.1	4.2	0.5	1.6	0.5	1.1	11.6	4.7
30～34歳	100.0 (465)	29.0	<u>37.0</u>	1.3	3.0	0.4	0.4	4.7	5.2	0.6	3.4	1.3	2.2	7.5	3.9
35～39歳	100.0 (701)	35.0	<u>36.9</u>	1.9	3.7	0.9	0.9	3.6	2.7	0.9	2.3	3.0	1.3	4.9	2.3
40～44歳	100.0 (431)	<u>37.6</u>	33.4	3.0	3.5	1.2	1.2	3.5	4.2	0.5	2.1	1.9	1.9	3.7	2.6
45～49歳	100.0 (128)	<u>35.9</u>	28.9	3.1	1.6	0.8	3.1	3.9	5.5	1.6	1.6	3.9	2.3	3.1	4.7
50歳以上	100.0 (23)	17.4	21.7	-	-	13.0	13.0	-	21.7	0.0	4.3	-	-	4.3	4.3

(注)父親は総数が 20 名のため省略した。

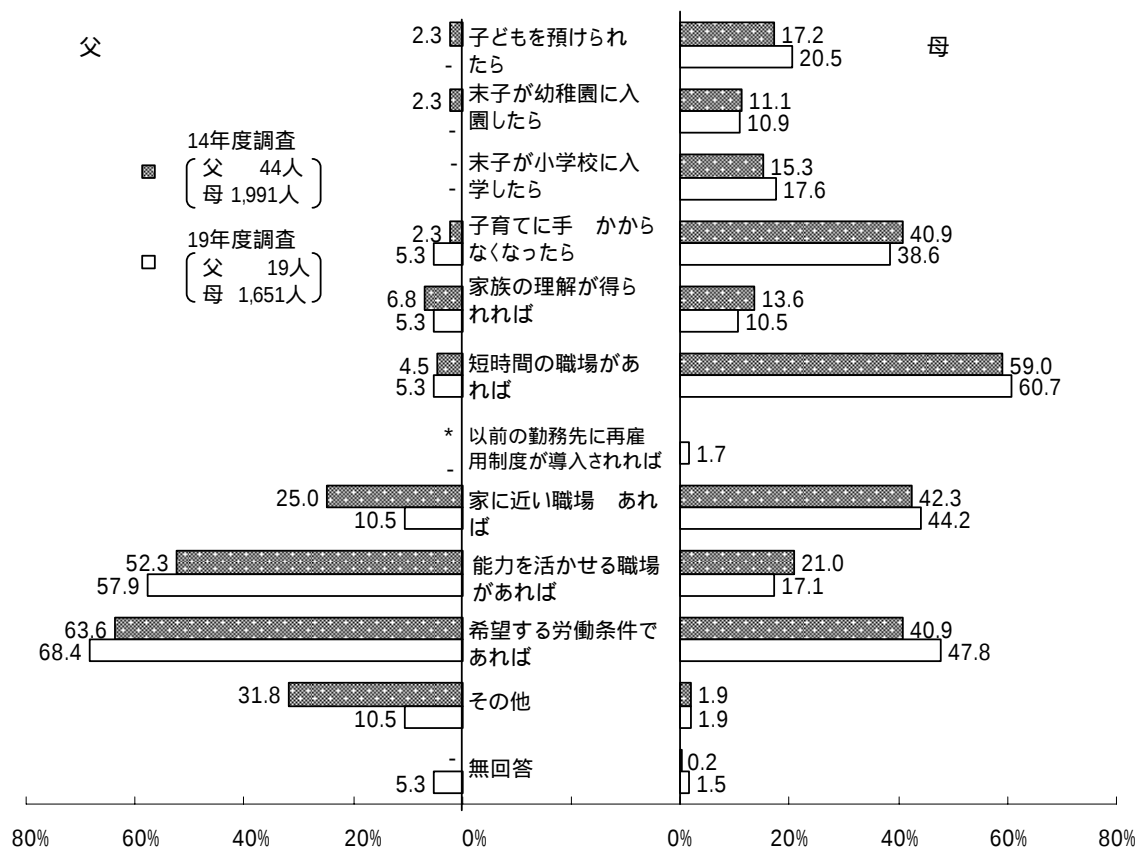
4 今後働くための条件〔複数回答〕 - 前回調査との比較

母親が今後働くための条件で最も割合が高いのは、「短い時間でも働ける職場があれば」で6割

今後の就労希望で「今すぐにでも働きたい」「いずれ働きたい」と答えた1,670人に、どのような条件が満たされれば働くことができると思うか聞いたところ、割合が最も高かったのは、父親は、「希望する労働条件であれば」で68.4%、母親は「短い時間でも働ける職場があれば」で60.7%であった。（図 -1-12 本文 107p）

問 どのような条件が満たされれば、働くことができると思いますか。

図 -1-12 今後働くための条件〔複数回答〕 - 前回調査との比較



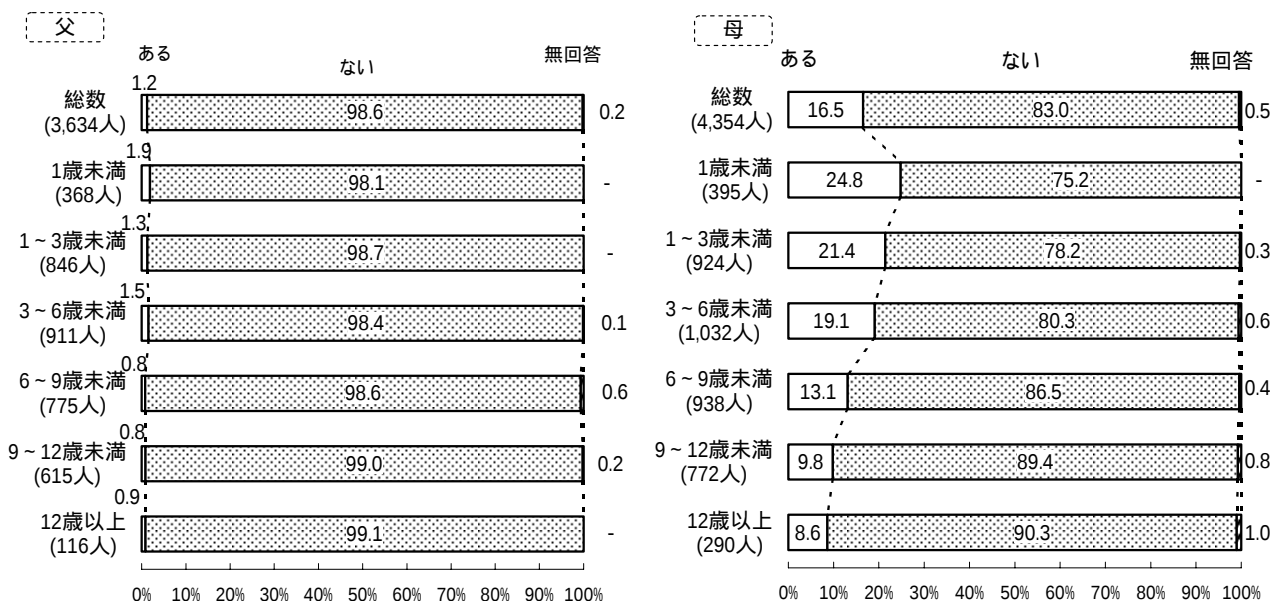
（注）*は14年度調査時に選択肢がなかったもの

5 育児休業制度の利用の有無 - 1番下の子どもの年齢別

育児休業制度利用の有無を1番下の子どもの年齢別にみると、母親は、子どもの年齢が下がるにつれ、利用したことが「ある」と答えた人の割合が上がっており、1番下の子どもの年齢が「1歳未満」では、24.8%と約4人に1人が利用したことが「ある」と回答している。(図 -2-2 本文 112p)

問 あなたは、これまでに育児休業制度を利用したことがありますか。

図 -2-2 育児休業制度の利用の有無 - 1番下の子どもの年齢別

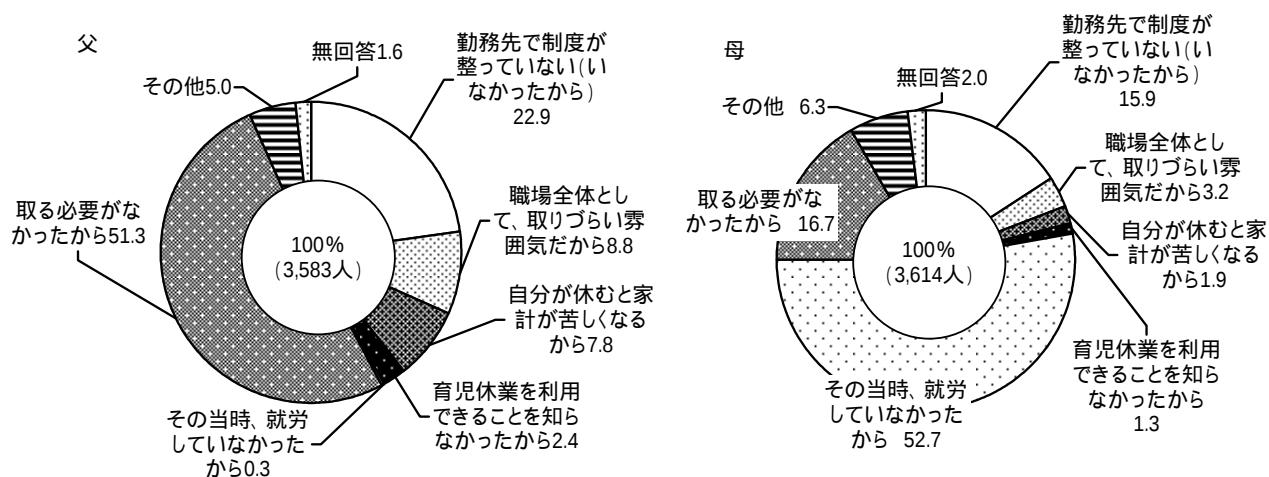


6 育児休業を利用しなかった理由

育児休業を利用しなかった7,197人に、その理由を聞いたところ、最も割合が高かったのは、父親は「取る必要がなかったから」で51.3%、母親は「その当時就労していなかったから」で52.7%とそれぞれ半数を超えている。(図 -2-9 本文 120p)

問 育児休業を利用しなかったのはなぜですか。

図 -2-9 育児休業を利用しなかった理由



7 子育てをしやすいするために必要なもの〔複数回答〕 - 世帯類型（母子・父子世帯）別

子育てをしやすいするために必要なものは、母子世帯では「子育てに理解のある職場環境の整備」の割合が最も高く、約半数であった。

子育てをしやすいするために必要なものを世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、母子世帯では、「子育てに理解のある職場環境の整備」の割合が 48.8%と最も高く、両親世帯と比べて5ポイント高くなっている。また、「子どもが病気やけがをしたときに休暇を取れる制度の充実」の割合は 42.2%と、両親世帯の 30.7%と比べて 10 ポイント以上高くなっている。（表 -4-3 本文 134p）

問 あなたは、出産や子育てをしやすいためには、何が必要だと思いますか。

表 -4-3 子育てをしやすいするために必要なもの〔複数回答〕

- 世帯類型（母子・父子世帯）別

	総数	仕事の時間を短縮したり、ずらした制度	育児休業制度の普及	子育てに理解のある職場環境の整備	育児手当など経済的な手当の充実	職場内保育施設の整備	出産・育児のために退職した人が復帰できる制度の充実	子どもが病気やけがをしたときに休暇を取れる制度の充実	夜間・休日問わず、子どもを預けられる保育サービスの整備	小学生の子どもを預けられるサービスの整備	求職中に子どもを預けられるサービスの整備	出産や子育てに関する情報提供や相談の場の整備	子育て家庭の住宅環境の整備	男女が共に子育てに携わる意識啓発	子どもの遊び場環境の整備	その他	特にない	無回答
総数	100.0 (7,988)	28.4	17.5	44.1	50.6	12.0	13.5	31.3	14.3	10.5	3.7	3.7	11.1	13.9	16.1	4.5	1.7	0.9
両親世帯	100.0 (7,402)	28.4	17.7	43.8	50.7	12.2	13.5	30.7	14.3	10.1	3.6	3.7	10.9	14.3	16.7	4.7	1.7	0.9
ひとり親世帯	100.0 (586)	28.0	14.5	47.8	49.3	10.1	12.8	39.6	15.5	15.2	4.9	2.9	12.6	8.9	9.6	2.2	2.4	1.5
母子世帯	100.0 (521)	28.2	13.6	48.8	48.6	10.7	12.7	42.2	15.2	15.4	5.0	2.3	12.7	9.2	8.8	2.3	1.7	1.7
父子世帯	100.0 (65)	26.2	21.5	40.0	55.4	4.6	13.8	18.5	18.5	13.8	4.6	7.7	12.3	6.2	15.4	1.5	7.7	-

8 子育てをしていて日ごろ感じること - 父母別

子育てをしていて負担に感じる事が「よくある」の割合は、すべての項目で、母親の方が父親より高くなっている。

子育てをしていて日ごろ感じることを父母別にみると、良かったと思うことでは、「よくある」の割合は、「自分の子どもは結構うまく育っていると思う」「子どもの顔をみると気持ちが安らぐ」以外の項目で、母親の方が父親より高くなっている。父母で「よくある」の割合の差が特に大きかったのは、「子育てによって様々な経験ができたと思う」(父 63.6%、母 79.7%)「子育てによって人間関係が広がったと思う」(父 19.5%、母 50.8%)である。(図 -4-4 本文 138p)

一方、負担に感じることでは、すべての項目で母親の方が父親より「よくある」の割合が高くなっている。(図 -4-5 本文 139p)

問 あなたは、次のようなことをお感じになることがありますか。

図 -4-4 子育てをしていて日ごろ感じること(良かったと思うこと) - 父母別

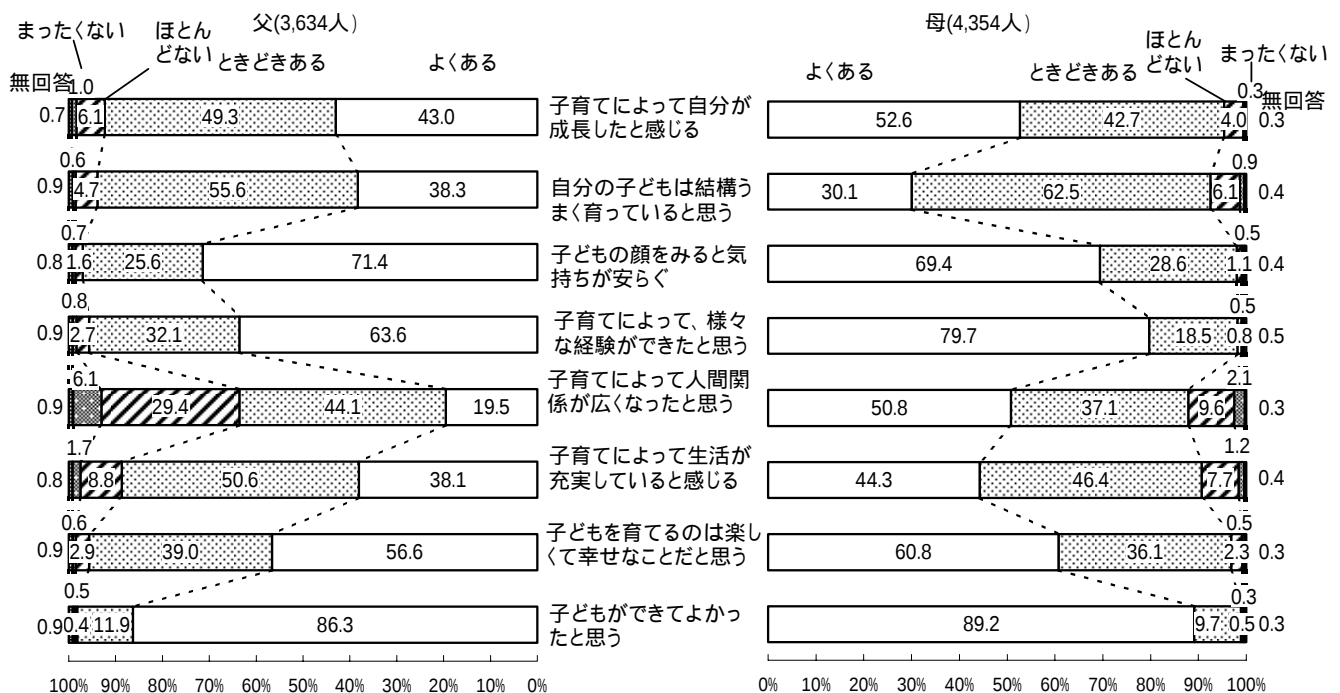
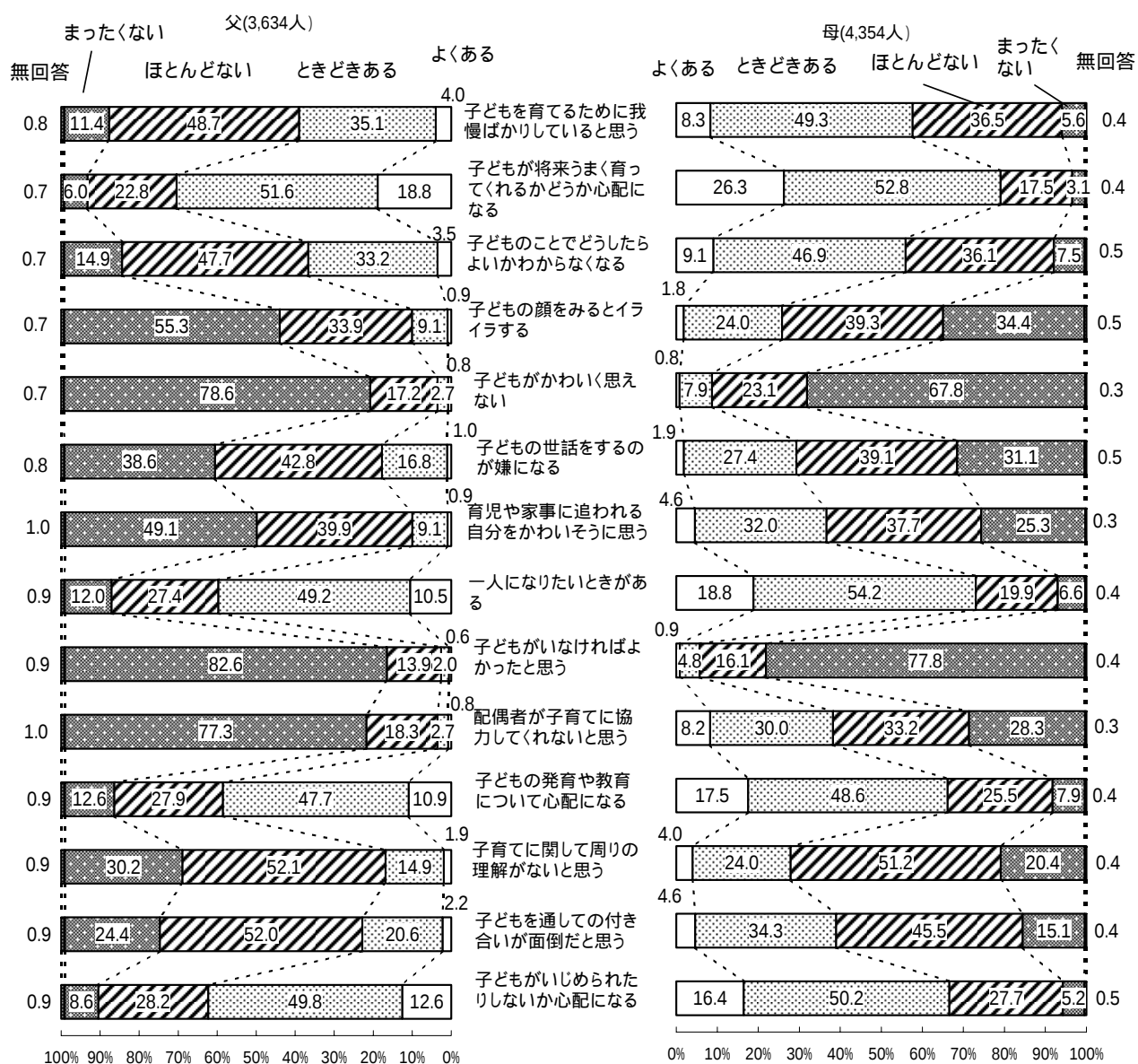


図 -4-5 子育てをしていて日頃感じること（負担に感じること） - 父母別



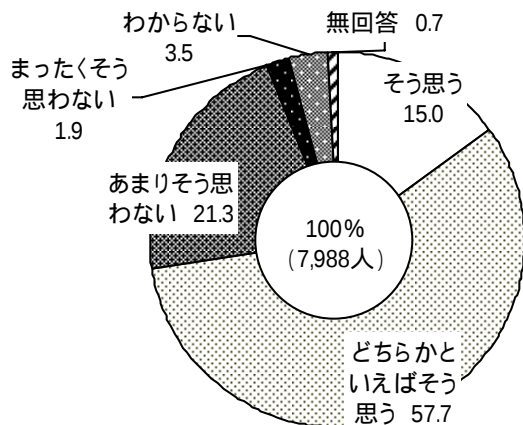
(注)「配偶者が子育てに協力してくれないと思う」のみ、総数は父 3,569 人、母 3,833 人

9 安心して子育てできる地域か

自分の住んでいる地域が、安心して子育てできる地域かどうか聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」の割合が 57.7%で最も高かったが、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」人も 23.2%いた。(図 -5-2 本文 151p)

問 あなたの住んでいる地域は、安心して子育てができる地域だと思いますか。

図 -5-2 安心して子育てできる地域か



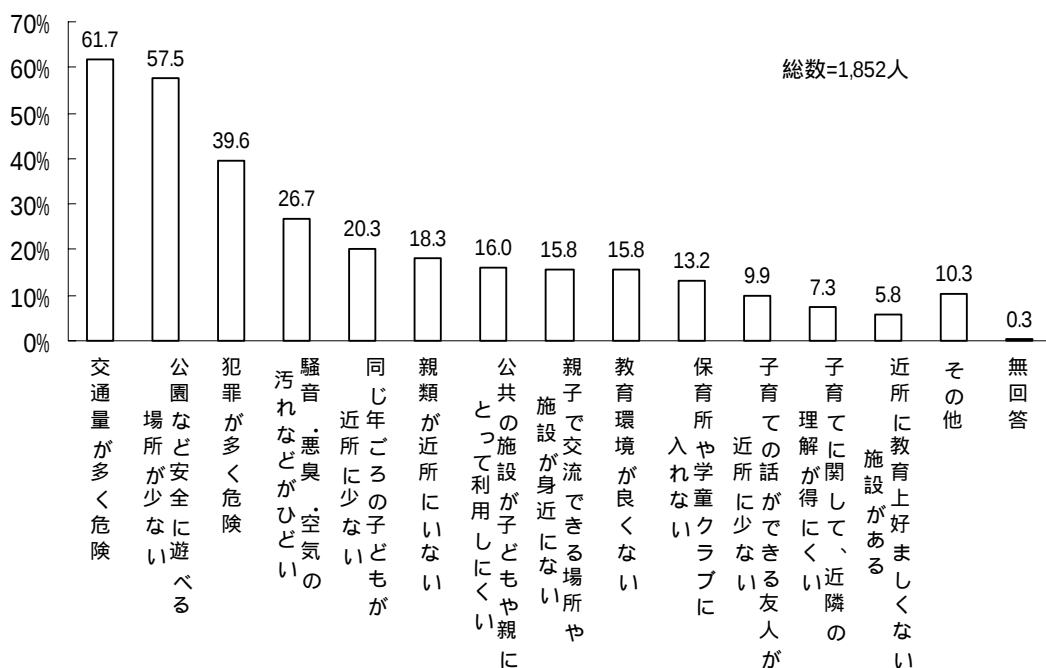
10 安心して子育てできない理由

(1) 安心して子育てできない理由〔複数回答〕

「自分の住んでいる地域が安心して子育てできる地域かどうか」の設問で「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」と回答した 1,852 人にその理由を聞いたところ、「交通量が多く危険」が最も高く 61.7%、次いで「公園など安全に遊べる場所が少ない」の 57.5% となっている。(図 -5-5 本文 154p)

問 安心して子育てできない理由は何ですか。

図 -5-5 安心して子育てできない理由〔複数回答〕



(2) 安心して子育てできない理由〔複数回答〕 - 1 番下の子どもの年齢別

1 番下の子どもの年齢が 1 歳未満の母親の 4 人に 1 人が、「子育ての話ができる友人が近所に少ない」と思っている。

安心して子育てできない理由を 1 番下の子どもの年齢別にみると、ほとんどの年齢層で「交通量が多く危険」の割合が最も高く、次いで「公園など安全に遊べる場所が少ない」であるが、1 番下の子どもの年齢が 6 歳以上である母親は「公園など安全に遊べる場所が少ない」の割合が最も高く、6～9 歳未満が 65.5%、9～12 歳未満が 60.7%、12 歳以上が 52.9%となっている。

1 番下の子どもの年齢が 1 歳未満である母親は、「子育ての話ができる友人が近所に少ない」の割合が 26.0%であり、総数の 9.9%と比べて 16.1 ポイント高くなっている。また「保育所や学童クラブに入れない（満員等の理由のため）」も 29.2%と総数の 13.2%と比べて 16 ポイント高くなっている。（表 -5-5 156p）

表 -5-5 安心して子育てできない理由〔複数回答〕 - 1 番下の子どもの年齢別

	総数	公園など安全に遊べる場所が少ない	同じ年ごろの子どもが近所に少ない	子育てに関する、近隣の理解が得にくい	親類が近所にいない	子育ての話ができる友人が近所に少ない	親子で交流できる場所や施設が身近にない	公共の施設が子どもや親にとって利用しにくい	保育所や学童クラブに入れない（満員等の理由のため）	教育環境が良くない	交通量が多く危険	犯罪が多く危険	騒音・悪臭・空気の汚れなどがひどい	近所に教育上好ましくない施設がある	その他	無回答
総数	100.0 (1,852)	57.5	20.3	7.3	18.3	9.9	15.8	16.0	13.2	15.8	61.7	39.6	26.7	5.8	10.3	0.3
父	100.0 (733)	56.6	18.3	5.3	15.0	6.4	14.7	15.3	9.7	18.6	66.7	43.0	29.7	6.8	8.6	0.1
1歳未満	100.0 (77)	53.2	16.9	2.6	14.3	6.5	16.9	14.3	16.9	15.6	74.0	35.1	40.3	10.4	3.9	-
1～3歳未満	100.0 (175)	52.0	16.6	2.3	17.1	8.6	16.0	17.1	14.9	15.4	66.3	40.0	34.3	5.7	13.7	0.6
3～6歳未満	100.0 (177)	55.9	21.5	7.3	21.5	7.3	15.3	17.5	11.3	18.1	70.6	41.2	29.4	6.8	9.6	-
6～9歳未満	100.0 (180)	62.2	20.6	7.2	9.4	5.6	11.7	12.8	3.9	20.6	62.8	49.4	23.3	7.2	3.9	-
9～12歳未満	100.0 (107)	58.9	12.1	5.6	10.3	3.7	15.0	13.1	4.7	21.5	64.5	45.8	29.0	4.7	8.4	-
12歳以上	100.0 (17)	52.9	23.5	5.9	17.6	0.0	17.6	17.6	0.0	29.4	52.9	41.2	11.8	11.8	17.6	-
母	100.0 (1,119)	58.0	21.6	8.7	20.4	12.2	16.4	16.4	15.5	13.9	58.4	37.4	24.7	5.1	11.3	0.4
1歳未満	100.0 (96)	58.3	17.7	4.2	28.1	26.0	14.6	16.7	29.2	11.5	64.6	27.1	36.5	4.2	11.5	-
1～3歳未満	100.0 (221)	49.8	24.4	7.2	24.0	16.7	16.7	17.6	24.9	11.3	60.2	32.1	29.0	4.5	12.2	1.4
3～6歳未満	100.0 (272)	55.9	24.6	8.5	20.6	9.9	18.4	15.1	16.2	13.6	61.8	32.7	23.9	3.3	12.1	-
6～9歳未満	100.0 (287)	65.5	21.6	11.5	17.4	9.4	16.7	17.4	10.5	14.6	58.5	46.3	19.5	4.2	10.5	0.3
9～12歳未満	100.0 (191)	60.7	18.3	8.4	19.4	8.4	12.6	14.1	6.3	16.2	51.8	41.4	23.6	8.9	11.0	0.5
12歳以上	100.0 (51)	52.9	13.7	9.8	9.8	7.8	21.6	19.6	5.9	19.6	43.1	41.2	21.6	9.8	9.8	-

11 夫婦のコミュニケーション

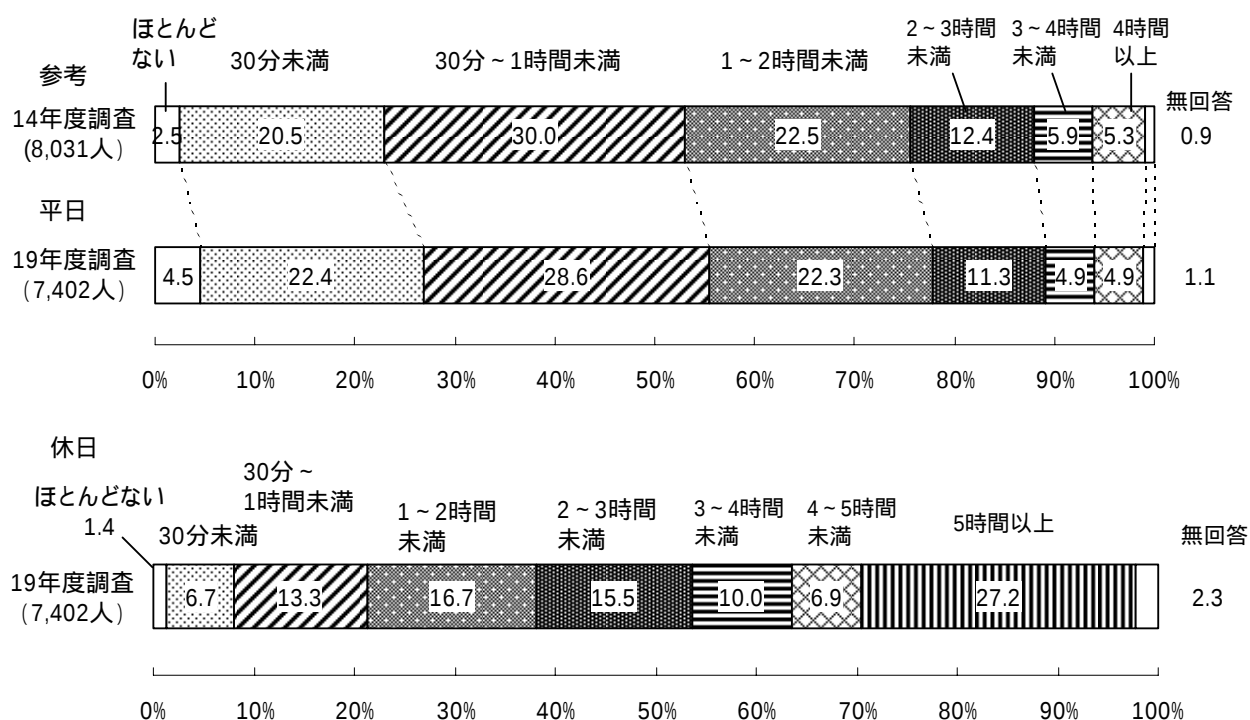
(1) 夫婦の会話時間 - 前回調査との比較

平日の夫婦の会話時間は、約 4 人に 1 人が「30 分未満」

夫婦の会話時間を平日、休日別に聞いたところ、平日は、「30 分～1 時間未満」の割合が最も高く 28.6%、休日は「5 時間以上」が 27.2%と最も高かった。前回調査と比べると「ほとんどない」と「30 分未満」の割合が増えており、これらを合わせた 30 分未満の割合は 26.9%と約 4 人に 1 人となっている。(図 -6-5 171p)

問 御夫婦の 1 日の会話時間はどれくらいですか。平日、休日それぞれについてお答えください。

図 -6-5 夫婦の会話時間 - 前回調査との比較



(注) 14 年度調査は、平日、休日を特定していない。

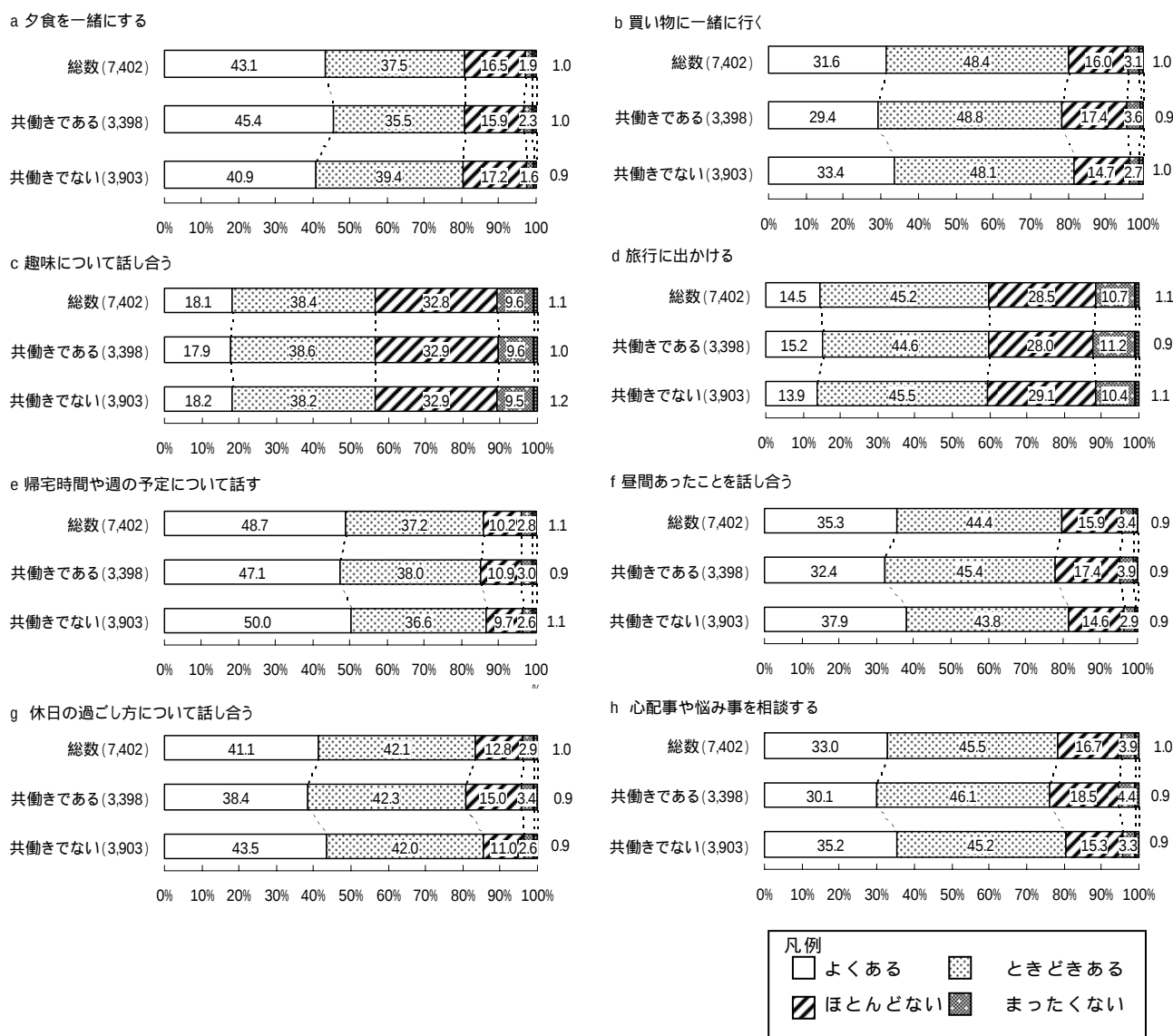
(2) 夫婦のコミュニケーション - 共働きの状況別

夕食を一緒にすることが「よくある」と答えた割合は、共働きの夫婦の方が、共働きでない夫婦よりも高くなっている。

夫婦のコミュニケーションを共働きの状況別にみると、夕食を一緒にすることが「よくある」と答えた割合は、共働きの場合 45.4%、共働きでない場合 40.9%と共働きの方が高くなっている。その他、「よくある」の割合が、共働きと共働きでない場合で差が大きかったのは、昼間あったことを話し合う（共働き 32.4%、共働きでない 37.9%）、休日の過ごし方について話し合う（共働き 38.4%、共働きでない 43.5%）、心配事や悩み事を相談する（共働き 30.1%、共働きでない 35.2%）などで、それぞれ共働きではない方が、割合が高くなっている。（図 -6-4 本文 170p）

問 ご夫婦のコミュニケーションについてお聞きします。

図 -6-4 夫婦のコミュニケーション - 共働きの状況別



12 夫婦の家事・育児分担

(1) 夫婦の家事・育児分担の割合（現実） - 従業上の地位別

妻が正規の職員、従業員の場合でも、「夫 5 妻 5」の割合は 1 割に満たない。

夫婦の家事・育児分担の割合（現実）を従業上の地位別にみると、夫は、正規の職員・従業員では「自分 1 配偶者 9」の割合が最も高く 36.1%で、総数の 34.0%より高くなっている。また、会社・団体等の役員では、「自分 2 配偶者 8」の割合が 34.1%と最も高くなっている。妻は、正規の職員・従業員では「自分 8 配偶者 2」の割合が最も高く 29.5%である。また、「自分 7 配偶者 3」の割合が 20.8%と 2 割強で、他に比べると夫の分担割合が高くなっているが、「自分 5 配偶者 5」の割合は 7.5%と 1 割に満たない。

（表 -7-4 本文 181p）

問 あなたの家庭の現在の家事、育児分担割合は、あなたと配偶者でどうなっていると思いますか

表 -7-4 夫婦の家事・育児分担の割合（現実） - 従業上の地位別

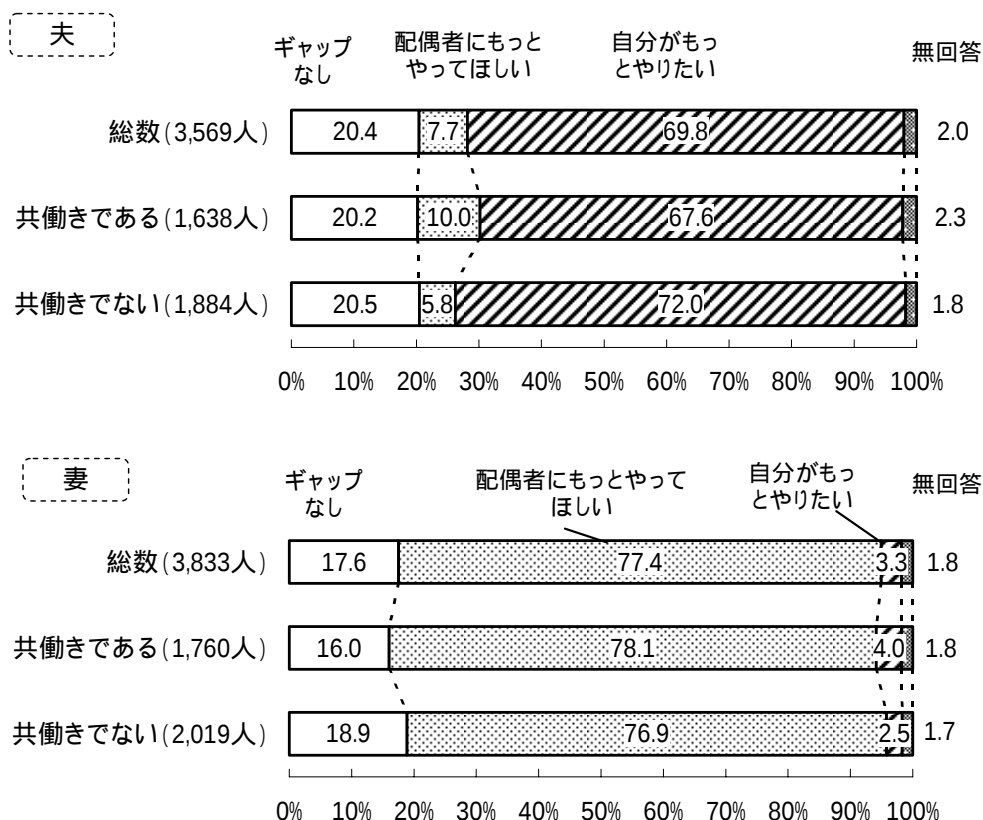
	総 数	自 分 1 0 配 偶 者 0	自 分 9 配 偶 者 1	自 分 8 配 偶 者 2	自 分 7 配 偶 者 3	自 分 6 配 偶 者 4	自 分 5 配 偶 者 5	自 分 4 配 偶 者 6	自 分 3 配 偶 者 7	自 分 2 配 偶 者 8	自 分 1 配 偶 者 9	自 分 0 配 偶 者 1 0	無 回 答
夫	100.0 (3,569)	0.4	2.1	2.7	1.6	1.2	3.3	4.0	13.5	30.2	34.0	5.3	1.7
就業	100.0 (3,548)	0.5	2.1	2.6	1.5	1.2	3.3	4.0	13.5	30.2	34.0	5.3	1.7
自営業	100.0 (532)	0.8	4.1	2.8	2.1	1.9	5.3	4.5	13.0	27.4	27.1	8.8	2.3
正規の職員・従業員	100.0 (2,646)	0.4	1.9	2.5	1.3	1.1	2.9	3.9	13.5	30.4	<u>36.1</u>	4.6	1.5
会社・団体等の役員	100.0 (232)	0.9	0.9	3.4	1.3	0.4	3.9	3.4	11.6	<u>34.1</u>	31.9	6.0	2.2
パート・アルバイト	100.0 (45)	-	2.2	-	-	4.4	2.2	8.9	24.4	22.2	28.9	4.4	2.2
労働者派遣事業所の派遣社員	100.0 (27)	-	-	3.7	7.4	-	7.4	3.7	18.5	44.4	11.1	3.7	-
契約職員・嘱託	100.0 (33)	-	3.0	6.1	6.1	3.0	6.1	3.0	12.1	24.2	24.2	6.1	6.1
非就業	100.0 (19)	-	5.3	10.5	10.5	-	5.3	-	21.1	26.3	21.1	-	-
妻	100.0 (3,833)	7.4	36.0	30.7	14.0	5.3	2.9	0.6	0.5	0.7	0.5	-	1.5
就業	100.0 (1,776)	7.0	32.2	29.3	15.8	6.5	4.3	0.9	0.8	1.0	0.7	-	1.5
自営業	100.0 (207)	5.3	33.8	30.4	16.4	5.3	3.9	-	0.5	0.5	1.4	-	2.4
正規の職員・従業員	100.0 (519)	3.1	23.7	<u>29.5</u>	<u>20.8</u>	9.2	<u>7.5</u>	2.5	1.5	0.4	0.2	-	1.5
会社・団体等の役員	100.0 (33)	9.1	36.4	24.2	3.0	9.1	12.1	-	3.0	3.0	-	-	-
パート・アルバイト	100.0 (858)	9.2	36.4	29.1	13.4	5.5	2.3	0.2	0.2	1.3	0.9	-	1.4
労働者派遣事業所の派遣社員	100.0 (57)	8.8	33.3	24.6	15.8	8.8	1.8	1.8	1.8	3.5	-	-	-
契約職員・嘱託	100.0 (55)	12.7	38.2	25.5	14.5	1.8	5.5	-	-	-	-	-	1.8
非就業	100.0 (2,010)	7.7	39.4	31.9	12.3	4.3	1.5	0.2	0.3	0.4	0.4	-	1.5

(2) 夫婦の家事・育児分担についての理想と現実のギャップの有無 - 共働きの状況別

自分をもっと家事・育児をやりたいと思っている夫の割合は、共働きの場合より共働きでない場合の方が高い。

夫婦の家事・育児分担についての理想と現実のギャップの有無を共働きの状況別にみると、夫では、共働き（67.6％）の場合より共働きでない（72.0％）方が「自分をもっとやりたい」の割合が高くなっている。妻の「ギャップなし」の割合は、共働き（16.0％）の場合より共働きでない（18.9％）方が高くなっている。（図 -7-3 186p）

図 -7-3 夫婦の家事・育児分担についての理想と現時のギャップの有無 - 共働きの状況別



(3) 夫婦の家事・育児分担についての理想と現実のギャップの有無

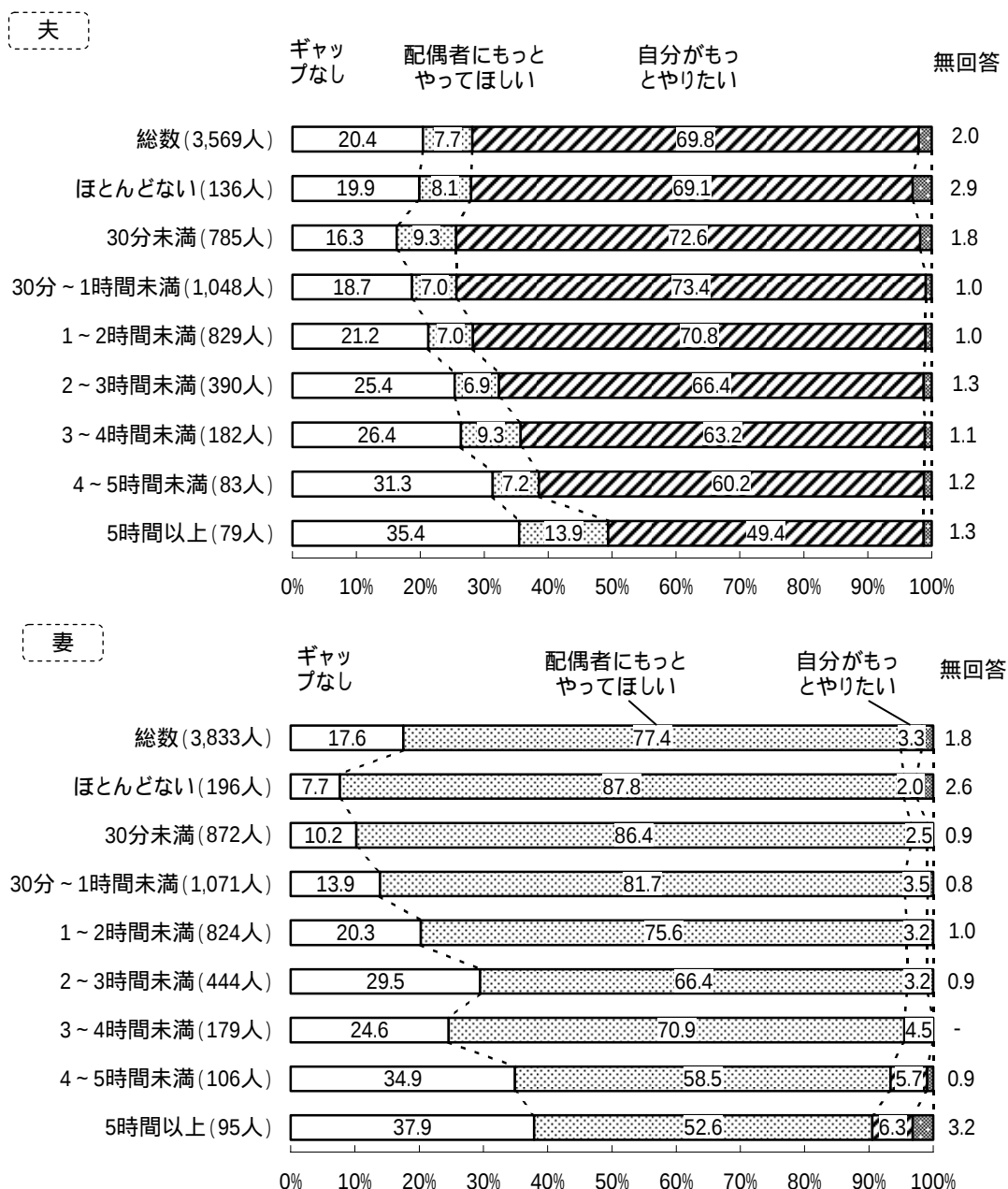
- 夫婦の1日の会話時間(平日)別

平日の夫婦の会話時間が長いほど、家事・育児分担についての理想と現実のギャップが「ない」割合が高くなる傾向がみられる。

夫婦の家事・育児分担についての理想と現実のギャップの有無を夫婦の1日の会話時間(平日)別にみると、夫婦とも、概ね平日の会話時間が長いほど、「ギャップなし」の割合が高くなる傾向がみられた。(図 -7-4 本文 187p)

図 -7-4 夫婦の家事・育児分担についての理想と現実のギャップの有無

- 夫婦の1日の会話時間(平日)別



13 自分がもっと家事・育児をやるための条件〔複数回答〕 - 帰宅時間別

自分がもっと家事・育児をやるための条件は、午後 8 時以降に帰宅する夫の場合、「自分の勤務時間が短縮できれば」と半数以上が回答

自分がもっと家事・育児をやるための条件を帰宅時間別にみると、夫は、午後 6 時 59 分以前に帰宅している人では「自分の家事能力が向上すれば」の割合が最も高くなっているが、午後 7 時以降では「自分の勤務時間が短縮できれば」が最も高くなり、午後 8 時以降に帰宅する人では半数を超えている。(表 -7-9 本文 191p)

問 どのようにすれば、もっと自分が家事・育児をできると思いますか

表 -7-9 自分がもっと家事・育児をやるための条件〔複数回答〕 - 帰宅時間別

	総 数	自 分 の 勤 務 時 間 が 短 縮 で き	自 分 の 職 場 が 自 宅 か ら 近 く	自 分 が 育 児 休 業 を 取 得 で き	自 分 の 家 事 能 力 が 向 上 す れ	配 偶 者 以 外 の 親 戚 の 理 解 が 得 ら れ ば	配 偶 者 の 収 入 が 増 え れ ば	配 偶 者 が 仕 事 に 就 い た ら	そ の 他	無 回 答
夫	100.0 (2,492)	66.2	26.8	15.6	30.9	0.9	7.8	11.8	7.1	6.3
働いている	100.0 (2,477)	66.5	26.9	15.6	30.8	0.9	7.8	11.7	7.1	6.2
午後5時以前	100.0 (27)	25.9	3.7	3.7	<u>44.4</u>	-	7.4	7.4	14.8	14.8
午後5時～午後5時59分	100.0 (57)	31.6	14.0	12.3	<u>47.4</u>	-	10.5	17.5	1.8	7.0
午後6時～午後6時59分	100.0 (155)	38.1	8.4	14.8	<u>47.1</u>	2.6	6.5	15.5	11.0	9.0
午後7時～午後7時59分	100.0 (347)	<u>48.7</u>	21.9	11.5	36.9	0.3	8.4	13.0	8.1	7.8
午後8時～午後8時59分	100.0 (435)	<u>65.7</u>	32.0	15.4	33.1	0.7	7.8	12.6	6.2	6.0
午後9時～午後9時59分	100.0 (461)	<u>74.2</u>	35.8	16.9	28.2	1.3	9.1	12.1	4.8	5.9
午後10時以降	100.0 (803)	<u>81.2</u>	29.3	18.2	24.5	0.6	6.6	9.1	6.0	5.1
その他	100.0 (139)	59.7	15.1	13.7	28.8	2.2	10.1	13.7	13.7	6.5
働いていない	100.0 (14)	21.4	-	7.1	42.9	-	-	14.3	7.1	28.6
妻	100.0 (125)	31.2	12.8	3.2	46.4	2.4	17.6	4.0	7.2	16.8
働いている	100.0 (74)	40.5	16.2	4.1	39.2	2.7	21.6	5.4	2.7	16.2
午後5時以前	100.0 (18)	44.4	16.7	5.6	38.9	-	22.2	5.6	5.6	16.7
午後5時～午後5時59分	100.0 (14)	14.3	-	-	35.7	-	7.1	7.1	7.1	42.9
午後6時～午後6時59分	100.0 (17)	52.9	29.4	-	52.9	-	29.4	5.9	-	11.8
午後7時～午後7時59分	100.0 (8)	75.0	25.0	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5	-	-
午後8時以降	100.0 (6)	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	-	-	-
その他	100.0 (6)	16.7	-	-	50.0	-	33.3	-	-	-
働いていない	100.0 (48)	12.5	8.3	2.1	58.3	2.1	12.5	2.1	14.6	18.8

(注) 夫 2,492 人および妻 125 人は、自分がもっと家事・育児をやりたいと答えた人数である。